3章

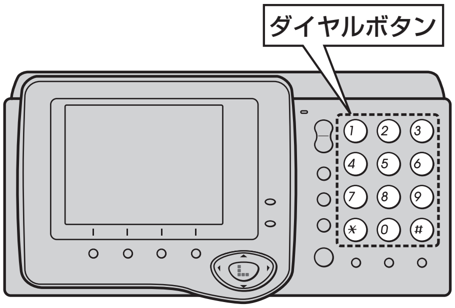
電　話



電話をかける

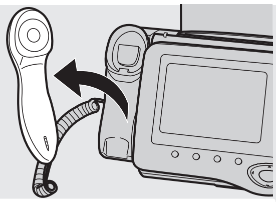
親機で電話をかけるときの操作です。





親機で電話をかける

1 **受話器を取る**



途中でやめるとき
受話器を戻す

●スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンで通話できます。（P.3-4）

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする



●まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

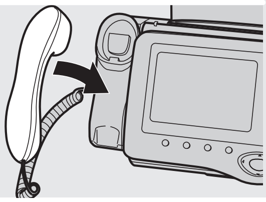
3 **相手の方とお話しする**



●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。



4 通話が終わったら
受話器を戻す

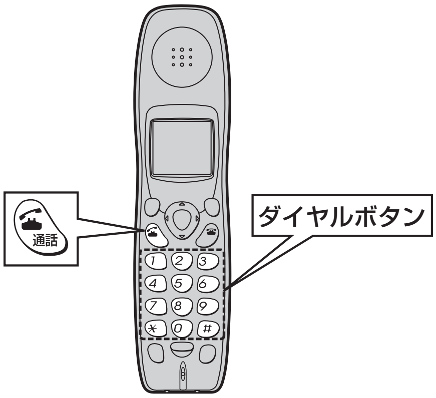


■ **電話がかからないときは（P.10-10）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り換わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（P.5-26）を「なし」にします。（ファクス受信時、親機で通話中のときはスタートボタンを、子機で通話中のときは機能ボタンを押します。）

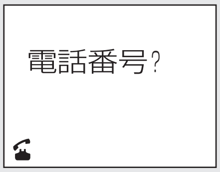
子機で電話をかけるときの操作です。



子機で電話をかける

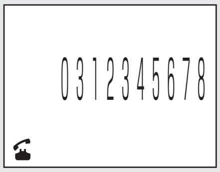
途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 充電器から取って
(通話)を押す



●通話ボタンが点灯します。
●スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンで通話できます。(P.3-5)

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする



●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

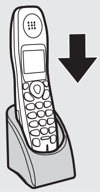
3 相手の方とお話しする



●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。



4 通話が終わったら
充電器に戻す



●充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
●通話時間の表示は、約5秒後に消えます。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは**
(P.10-26)

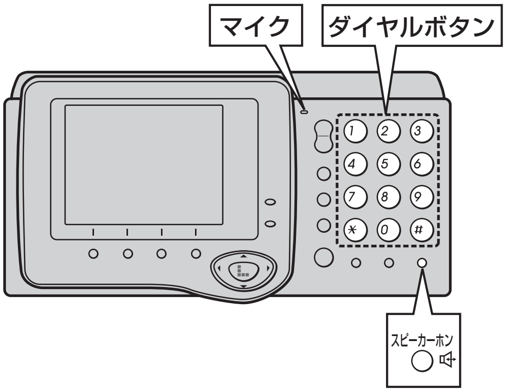
■ **番号を確かめてから電話をかけるときは**
① 通話ボタンを消灯させた状態でダイヤルする（ディスプレイで番号を確かめる）
② 通話ボタンを押す
③ 相手の方とお話しする
④ 通話が終わったら充電器に戻す（充電器に戻さないときは切ボタンを押す）

お知らせ
● ご使用の環境や電波の状態によっては子機から電話がかからないことがあります。親機に近づくなど、少し場所を移動してみてください。

受話器や子機を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）

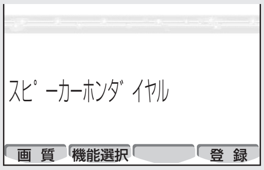
受話器や子機を持たずに、相手の方とお話しができます。（スピーカーホン通話）





受話器を置いたまま電話をかける

1 スピーカーホン ◯ **を押す**



途中でやめるとき

スピーカーホンボタンを押す

- 天気予報などを聞くときは、２回目の「ピッ」と鳴るまでスピーカーホンボタンを（２秒以上）押し続けます。受話専用になり音声が聞き取りやすくなります。（受話専用のときはこちらの声は相手の方には聞こえません。）

2 「ツー」という音が聞こえたら **ダイヤルする**



- まちがい電話を防ぐために「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 **マイクに向かって相手の方とお話しする**



- マイクから約50cm～2mの範囲内でお話しください。
- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

4 通話が終わったら スピーカーホン ◯ **を押す**

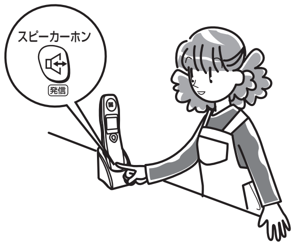
■ **相手の方の声が聞こえにくいときは**（**P.1-26**）

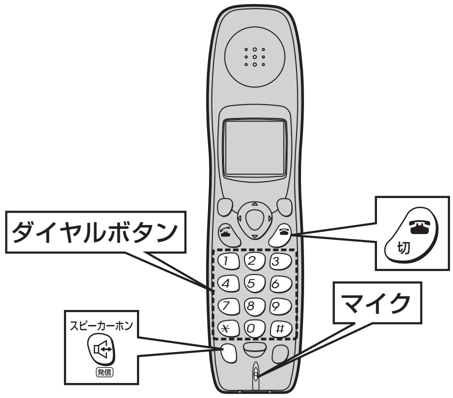
■ **電話がかからないときは**（**P.10-10**）

お知らせ

- 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、受話器を取ってお話しください。
- スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手の方からの電話がつながったときは、こちらの声が相手の方に聞こえないときがあります。
  こんなときは、受話器を取ってお話しください。

受話器や子機を置いたまま電話をかける（スピーカーホン）





子機を置いたまま電話をかける

1 スピーカーホン（発信）**を押す**

画面表示：電話番号？

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●ダイヤルボタンが約５秒間点灯します。
●通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。

2 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

画面表示：0312345678

●まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

3 **マイクに向かって相手の方とお話しする**



●マイクから約50cm～2mの範囲内でお話しください。
●通話中は電話番号と通話時間（目安）を表示します。

4 通話が終わったら
（切）**を押す**

●電話番号と通話時間（目安）は約５秒後に消えます。

■ **「ピーピー」という音が聞こえるときは（P.10-26）**

■ **相手の声が聞こえにくいときは（P.1-27）**

■ **電話番号を確認して電話をかけるときは**
① ダイヤルする(番号を確かめる)
② スピーカーホンボタンを押す（相手が出たらお話しします。）
③ 通話が終わったら、切ボタンを押す

お知らせ

● 子機を持って通話中にスピーカーホンボタンを押すと、スピーカーホンでの通話に切り替えられます。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）
● 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンは解除されます。）
● スピーカーホンボタンを押して、すぐに相手からの電話がつながったときは、こちらの声が相手に聞こえないことがあります。
こんなときは、子機を取ってお話しください。

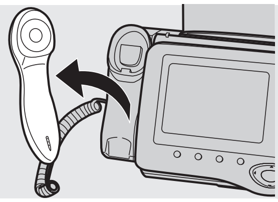
電話を受ける

親機で電話を受けるときの操作です。



親機で電話を受ける

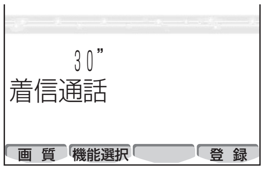
1 呼出音が鳴ったら
受話器を取る



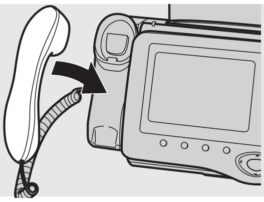
2 **相手の方とお話しする**



●ディスプレイにおよその通話時間を表示します。



3 通話が終わったら
受話器を戻す



■ **呼出音の大きさを変えるときは（P.1-26）**

■ **通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは**

声などに反応して、まれにおまかせ受信が働くことがあります。
頻繁におこるときは、おまかせ受信（P.5-26）を「なし」にします。（ファクス受信時、親機で通話中のときはFAXスタートボタンを、子機で通話中のときは機能ボタンを押します。）

お知らせ

● ナンバー・ディスプレイの契約をすると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（P.9-2〜9-27）

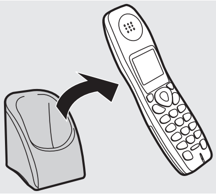
子機で電話を受けるときの操作です。

電話がかかってくると、最初に親機の呼出音が鳴って、少し遅れて子機の呼出音が鳴ります。



子機で電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら
充電器から取る



- 充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。（P.7-8）
- 通話ボタンが点灯します。

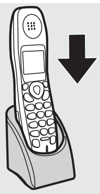
2 相手の方とお話しする



- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

0:30
<通話中>

3 通話が終わったら
充電器に戻す



- 充電器に戻さないときは、切ボタンを押します。
- 通話時間の表示は、約５秒後に消えます。

■ 呼出音が鳴っているときに音を「切」にするときは

呼出音が鳴っているときに切ボタンを押すと、音が「切」になります。（親機は鳴り続けます。）
次に電話がかかってきたときはもとの設定している呼出音が鳴ります。

■ 呼出音の大きさを変えるときは（P.1-27）

■ 通話中や保留中に突然ファクス受信に切り替わるときは（P.3-6）

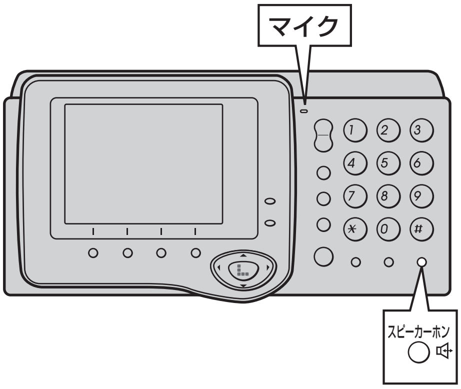
お知らせ

- 子機や充電器を設置するときは、親機（ファクシミリ本体）やPHS／携帯電話の充電器、その他の電気製品などと一緒に置かないでください。（できるだけ離してください。）子機の呼出音が鳴らなくなることがあります。
- ナンバー・ディスプレイの契約をすると、電話がかかってきたとき、相手の方の電話番号などがディスプレイに表示されます。（P.9-2～9-27）

受話器や子機を置いたまま電話を受ける（スピーカーホン）

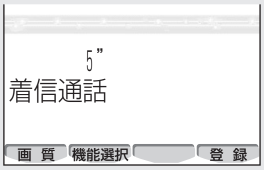
親機の受話器や子機を持たずに、電話を受けて、相手の方とお話しすることができます。（スピーカーホン通話）





受話器を置いたまま電話を受ける

1 呼出音が鳴ったら
スピーカーホン を押す



2 **マイクに向かって相手の方とお話しする**



- マイクから約50cm～2mの範囲内でお話しください。
- ディスプレイにおよその通話時間を表示します。

3 通話が終わったら
スピーカーホン を押す

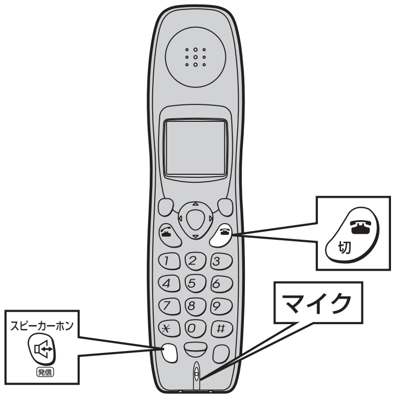
■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（P.1-26）**

■ **呼出音の大きさを変えるときは（P.1-26）**

お知らせ

- 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、受話器を取ってお話しください。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに電話がかかってきたときは、親機のスピーカーホンボタンを押してもスピーカーホン通話できません。子機または受話器を取ってお話しください。

受話器や子機を置いたまま電話を受ける（スピーカーホン）



子機を置いたまま電話を受ける

1 電話がかかってきたら
スピーカーホン（発信）**を押す**



- ダイヤルボタンが約５秒間点灯します。
- 通話中は通話時間（目安）を表示します。
- 通話ボタンとスピーカーホンボタンが点灯します。

2 マイクに向かってお話しする



- マイクから約50cm〜2mの範囲内でお話しください。

3 通話が終わったら
（切）**を押す**

- 通話時間（目安）の表示は、約５秒後に消えます。

■ **相手の方の声が聞こえにくいときは（P.1-27）**

■ **呼出音の大きさを変えるときは（P.1-27）**

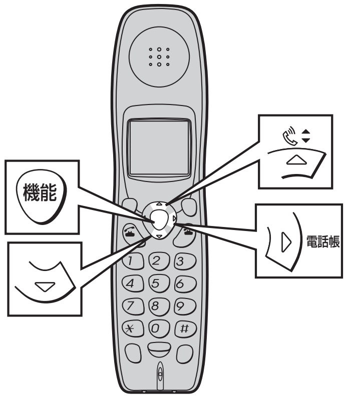
お知らせ

- 相手の方の声が聞き取りにくいときや、周囲が騒がしいときは、子機を取ってお話しください。（子機を充電器に置いていないときは、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホンが解除されます。）
- 子機を持って通話しているとき、スピーカーホンボタンを押すとスピーカーホン通話になります。（スピーカーホンでの通話に切り替えたあと、子機を充電器に置くと、通話が切れます。）

子機だけに電話がかかってくるようにする（優先呼出）

優先呼出を設定すると、電話がかかってきたとき、子機だけに呼出音が鳴ります。





優先呼出を設定する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能）を押す

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 （▲）または（▼）で「優先呼出」を選び、（▷電話帳）を押す

優先呼出
設定しました
優先呼出

● 「ピー」と鳴り、ディスプレイに 優先呼出 と表示されて、優先呼出が設定されます。

途中でやめるとき

切ボタンを押す

■ **優先呼出を解除するときは**

ディスプレイに 優先呼出 が表示されているときに、手順 1 ～ 2 の操作をします。
「ピピッ」と鳴り、ディスプレイの 優先呼出 が、消えます。

優先呼出
解除しました

優先呼出の表示が消えます

➡

（例）

子機1
15：00

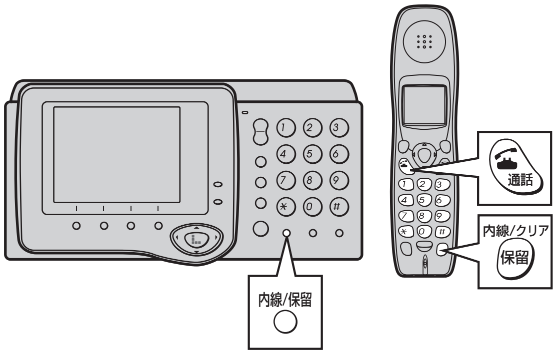
お知らせ

- 他の電話機と並列に接続しているとき、並列接続されている電話機の呼出音は、電話がかかってくると鳴ります。
- 設定後、 9 時間経過したときは優先呼出が自動的に解除されます。
- 優先呼出を設定できる子機は、 1 台のみです。
  子機を増設しているときで、すでに他の子機を優先呼出に設定しているときは、「設定できません」と表示され優先呼出を設定することはできません。
- 優先呼出を設定したあとで、子機の充電池を交換すると 優先呼出 の表示は消えますが優先呼出は、設定されたままになります。 優先呼出 を表示させるときは、もう一度設定しなおしてください。

通話中にお待たせする（保留）

通話中、相手の方をお待たせするときに、メロディーを流します。
（曲名：「カノン」）





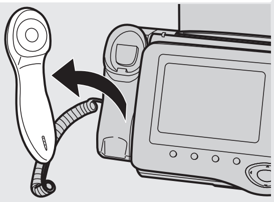
親機で通話中にお待たせする

1 通話中に
内線/保留 ◯ **を押して、受話器を戻す**



●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。

2 再び通話するときは
受話器を取る



●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
●受話器を戻さなかったときは、もう一度、保留ボタンを押すと、再び通話できます。
●保留中にスピーカーホンボタンを押しても、スピーカーホン通話に戻ることはできません。

子機で通話中にお待たせする

1 通話中に
内線/クリア（保留） **を押す**



●保留メロディーが流れ、お互いの声が聞こえなくなります。
●通話ボタンが点滅します。

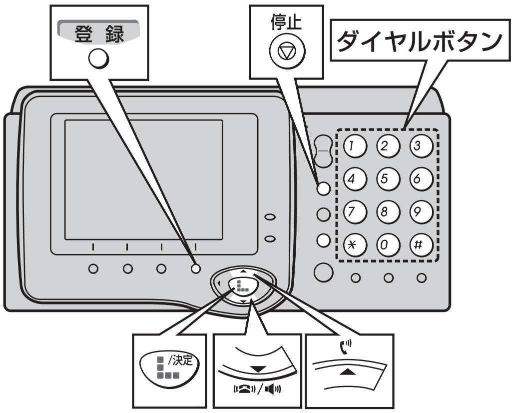
2 再び通話するときは
（通話） **または** 内線/クリア（保留） **を押す**

●保留メロディーが止まり、お話しできるようになります。
●通話ボタンが点灯します。

■ **保留中に他の電話機で電話に出るときは**
（ひとり転送 P.3-34）

親機の電話帳に登録する

よく利用する電話番号を、電話帳に登録しておくことができます。親機には最大100人分の番号を登録できます。
また、１人につき２つの番号を登録できるので、自宅と携帯電話の番号を両方登録したいときに便利です。



親機の電話帳に登録する

受話器を置いたまま操作します。

1 登録 を押す

（画面）登録 / 1 初期登録 / 2 音量調整 / 3 親機呼出音 / 画 質　取 消

2 ▲ または ▼ で「電子電話帳」を選び /決定 を押す

（画面）登録 / 2 音量調整 / 3 親機呼出音 / 4 電子電話帳 / 画 質　取 消

3 「登録」を選び、/決定 を押す

（画面）電子電話帳 / 名前？　[漢] / 文字切替　取 消

4 名前を入れる（最大全角10文字/半角20文字）
（P.1-38～1-41）

（画面）電子電話帳 / 名前？　[漢] / 池田 悟 / 文字切替　取 消

5 /決定 を押す

（画面）電子電話帳 / 読み？　半 [ｶﾅ] / ｲｹﾀﾞ ｻﾄｼ / 文字切替　取 消

6 「読み」が正しければ /決定 を押す

（画面）電子電話帳 / 電話番号？（第1番号） / NO. = / 相手NO. ｾｯﾄください / 取 消

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

- 名前の入力を省略するときは、/決定 を押して手順７に進みます。
  名前を入力しないで電話番号を登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。（20ケタまで）
  また、メールアドレスのみ登録すると名前のところにメールアドレスが表示されます。
- 「読み」に変更があれば修正します。（P.1-38～1-41）
  「読み」は半角文字で最大20文字まで入力できます。
- 名前に「。」や「、」があるときは自動的に「読み」は半角のスペースに変わっています。

次ページへ→

→つづき

7 電話番号（第1番号）を入れる（最大32ケタ）

電子電話帳
電話番号？（第1番号）
NO.=0312345678
最後に［L/決定］で決定
取 消

8 (/決定)を押す

電子電話帳
電話番号？（第2番号）
NO.=
相手NO.セットください
取 消

9 電話番号（第2番号）を入れる（最大32ケタ）

電子電話帳
電話番号？（第2番号）
NO.=09012345678
最後に［L/決定］で決定
取 消

- 番号を入れまちがえたときは、取消ボタンを押すと、１つ前の番号が消えるので、もう一度入れ直します。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（P.9-2）や着信鳴り分けをさせるとき（P.9-15〜9-18）は、同じ市内でも必ず市外局番から登録してください。
- 市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（P.9-2）や着信鳴り分け（P.9-15〜9-18）が働かなくなります。
- 第２番号の入力は省略できます。省略するときは、この手順をとばして手順10に進んでください。

10 (/決定)を押す

電子電話帳
メール宛先？　　半［英］
文字切替　取 消

11 メールの宛先を入れる（最大半角50文字）

電子電話帳
メール宛先？　　半［英］
0312345678@xx.yy.zz.ne.jp
文字切替　取 消

- メールの宛先の入力は省略できます。省略するときは手順12に進んでください。
- Ｌメールをご利用時に使用します。（P.8-16）
- 文字の入力モードが半［英］のとき (✱ トーン) を押すとよく利用する定型文が表示されます。

(✱ トーン) を押すたびに切り替わります

「.co.jp」「.ne.jp」「.ac.jp」「.com」「@pipopa.ne.jp」「@dem.odn.ne.jp」「www.」

12 (/決定)を押す

電子電話帳
池田 悟
登録しました
文字切替　取 消

- 続けて登録するときは手順４〜12をくり返し行ってください。

13 (停止)を押す

■ **登録した内容を確認するときは**

電話番号リストをプリントします。

① 機能選択ボタンを押す

② ▲ または ▼ で「電話番号リスト」を選ぶ

③ （/決定）を押す

■ **電話帳の内容を消すときは**

① 電話帳ボタンを押す

② ▲ または ▼ で消去したい相手の方を選んだあと、キャッチ/消去 L回線断 を押す

③ もう一度、キャッチ/消去 L回線断 を押す

④ 停止ボタンを押す

■ **電話帳の内容をすべて消去するには（P.11-4）**

■ **親機の電話帳の内容を子機にも登録するときは（P.3-25）**

■ **ポーズについて**

1回目に（再ダイヤル）ボタンを押すと、約4秒間の待ち時間ができます。続けて入力すると、2回目以降から約2秒間の待ち時間ができます。ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときや、海外の電話番号を登録するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

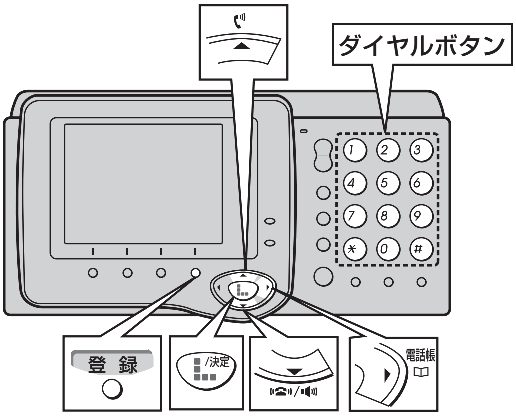
お知らせ

● 親機の電話帳には、あらかじめ次の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	117
≫天気予報	177

● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。また、登録後は電話番号リストをプリントして、確かめてください。

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。



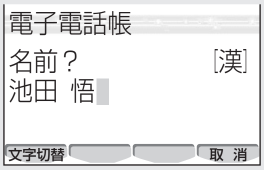
親機に登録した名前や番号を修正する

1 電話帳ボタン **を押す**

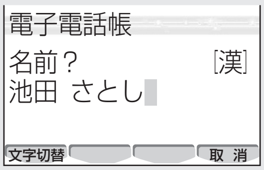
2 ▲ **または** ▼ **で修正する相手の方を選ぶ**



3 登録ボタン **を押す**



4 名前を入れ直す
（P.1-38～1-41）



●名前を修正しないときは手順５に進んでください。

5 /決定ボタン **を押す**

6 「読み」を入れ直す
（P.1-38～1-41）

●「読み」を修正しないときは手順７に進んでください。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

7 〔/決定〕 **を押す**

電子電話帳
電話番号？(第1番号)
NO.=0312345678
最後に [L/決定] で決定
取 消

8 電話番号（第１番号）を入れ直す

電子電話帳
電話番号？(第1番号)
NO.=0387654321
最後に [L/決定] で決定
取 消

●取消ボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
●第１番号を修正しないときは手順９に進んでください。

9 〔/決定〕 **を押す**

電子電話帳
電話番号？(第2番号)
NO.=09012345678
最後に [L/決定] で決定
取 消

10 電話番号（第２番号）を入れ直す

電子電話帳
電話番号？(第2番号)
NO.=09087654321
最後に [L/決定] で決定
取 消

●第２番号を修正しないときは手順11に進んでください。

11 〔/決定〕 **を押す**

12 メールの宛先を入れ直す

電子電話帳
ﾒｰﾙ宛先？　　半 [英]
0312345678@xx.yy.zz.
ne.jp
文字切替　取 消

●メールの宛先を修正しないときは手順13に進んでください。

13 〔/決定〕 **を押す**

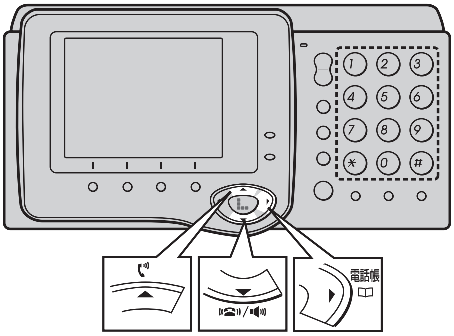
池田 さとし
登録しました
画 質　取 消

●待機画面に戻ります。

親機の電話帳で電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに数字（0～9）→英字（A～Z）→50音順に並べられています。





親機の電話帳で電話をかける

受話器を置いたまま操作します。

1 **（電話帳）を押してから、**

（▲）または（▼）で

相手の方を選ぶ

電子電話帳 ?
池田 悟
0312345678
09012345678
画質 | | | 登録

途中でやめるとき
- 相手の方を選んでいるときは停止ボタンを押す
- 通話中は受話器を戻す
- スピーカーホン通話のときはスピーカーホンボタンを押す

●ディスプレイで相手の方を確かめます。

2 **電話番号を選んだあと、受話器を取る**

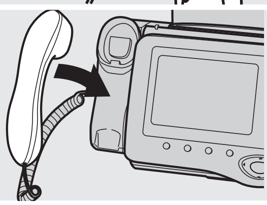
池田 悟
09012345678
画質 | 機能選択 | | 登録

●最初は第１番号を選んでいます。
（▶）を押すと第２番号を選ぶことができます。
●受話器を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
●選んだ相手の方へ自動的に電話をかけます。

3 **相手の方とお話しする**



4 通話が終わったら
受話器を戻す



●スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときは、スピーカーホンボタンを押します。

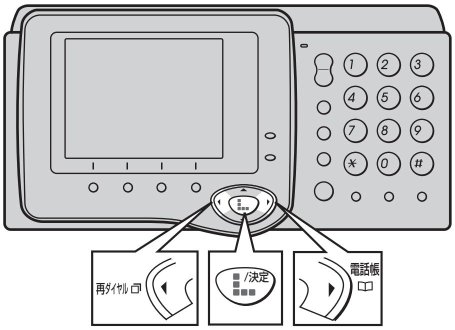
■ 受話器を取ったあと、電話帳で電話をかけるときは

① 受話器を取る（受話器を置いたまま電話をかけるときは、スピーカーホンボタンを押す）
② 電話帳ボタンを押したあと、（▲）または（▼）で相手の方を選ぶ
③（▶）で電話番号（第１番号または第２番号）を選ぶ
④（/決定）を押す
⑤ 相手の方とお話しする
⑥ 通話が終わったら受話器を戻す（スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押す）

■ 184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは

左記の①のあとに、「184」や「186」などをダイヤルして、②～⑥の操作を行います。
（「184」や「186」などを親機が発信中のときは、②～⑥の操作を行うことができません。少し待ってから②～⑥の操作を行ってください。）

名前の頭文字を選んで、相手の方を電話帳から選ぶことができます。



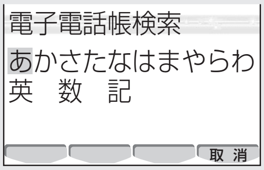
親機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける

受話器を置いたまま操作します。

途中でやめるとき

・相手の方を選んでいるときは停止ボタンを押す
・通話中は受話器を戻す
・スピーカーホン通話のときはスピーカーホンボタンを押す

1 電話帳 を 2 回押す



2 再ダイヤル または 電話帳 で相手の方の名前の頭文字を選んで /決定 を押す



●選んだ文字から近い名前の相手の方を表示します。
●探す相手の方が選ばれていないときは、▲または▼で選びます。

3 電話番号を選んだあと、受話器を取る

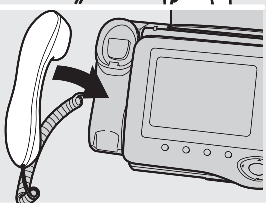


●最初は第 1 番号を選んでいます。▶を押すと第 2 番号を選ぶことができます。
●受話器を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
●選んだ相手の方に自動的に電話をかけます。

4 相手の方とお話しする



5 通話が終わったら
受話器を戻す

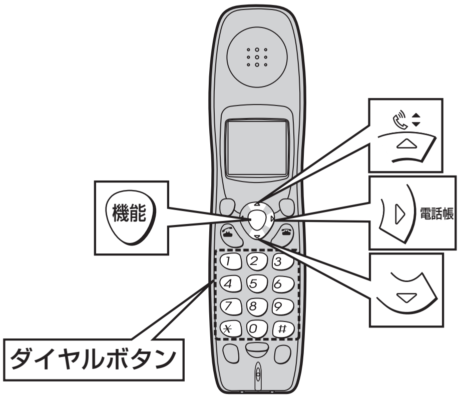


●スピーカーホンボタンを押して電話をかけたときは、スピーカーホンボタンを押します。

子機の電話帳に登録する

子機１台につき最大100人分の番号を登録できます。
また、１人につき２つの番号を登録できます。





子機の電話帳に登録する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 電話帳 **を押す**

▶電話帳検索
電話帳登録
◀終了　選択▶

2 または で「電話帳登録」を選んだあと、電話帳 **を押す**

名前？　［漢］
［機能］決定

3 名前を入れる（最大全角６文字/半角12文字）
（P.1-38、1-42〜1-44）

名前　［漢］
池田 悟
［機能］決定

●名前の入力を省略するときは、機能ボタンを押して手順６に進みます。
名前を入力しないで登録すると、名前のところに電話番号（第１番号）が表示されます。（12ケタまで）

4 機能 **を押す**

読み　半［ｶﾅ］
ｲｹﾀﾞ　ｻﾄｼ
［機能］決定

5 「読み」が正しければ
機能 **を押す**

池田 悟
第1番号？
［機能］決定

●「読み」に変更があれば修正します。
（P.1-38、1-42〜1-44）
「読み」の入力は半角文字で最大12文字まで入力できます。

次ページへ→

→つづき

手順	表示	説明
6 電話番号（第1番号）を入れる（最大16ケタ）	池田 悟 0312345678 [機能] 決定	●第1番号の入力は省略できません。 ●番号を入れまちがえたときはクリアボタンを押して番号を消したあと、もう一度、入れ直します。 ●クリアボタンを2秒以上押すと、すべての番号が消えます。 ●ナンバー・ディスプレイをご利用の方で、電話帳に登録した相手の方を名前で表示させるとき（P.9-2）や着信鳴り分けさせるとき（P.9-15、9-18）は、電話帳に番号を登録するときに、同じ市内の番号でも必ず市外局番から登録してください。 ●市外局番の前に「184」「186」などの番号を登録すると、ナンバー・ディスプレイご利用時の名前表示（P.9-2）や着信鳴り分け（P.9-15、9-18）が働かなくなります。
7 機能 を押す	池田 悟 第2番号？ [機能] 決定	
8 電話番号（第2番号）を入れる（最大16ケタ）	池田 悟 09012345678 [機能] 決定	●第2番号を省略するときは手順9へ進みます。
9 機能 を押す	池田 悟 登録しました 残り： 95	●「ピー」と鳴り、残りの登録可能件数を表示して登録を完了します。 ●続けて登録するときは手順1～9をくり返し行ってください。

■ 子機の電話帳の内容を消すときは

① ▲ または ▼ で相手の方を選んだあと、機能ボタンを押す

② ▲ または ▼ で「消去」を選んだあと、機能ボタンを2回押す

「ピー」と鳴り消去が完了します。

■ ポーズについて

1回目に（再ダイヤル）ボタンを押すと、約4秒間の待ち時間ができます。続けて入力すると、2回目以降から約2秒間の待ち時間ができます。ポーズを入力するのは、構内交換機から0発信するときや、海外の電話番号を登録するときだけにしてください。
それ以外のときにポーズを入力すると、正しく電話がかからないことがあります。

■ 子機の電話帳の内容を親機にも登録するときは（P.3-27）

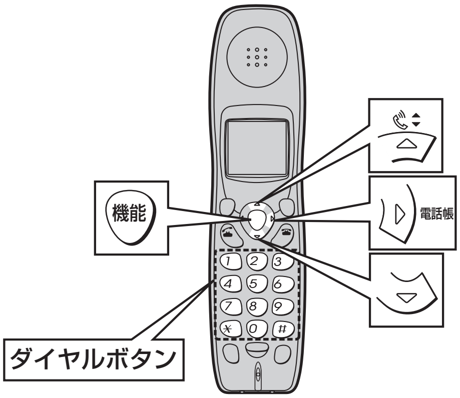
お知らせ

● 子機の電話帳には、あらかじめ次の2件の電話番号が登録されています。あらたに登録できるのは98人分です。100人分登録したいときは、この内容を消してください。

≫時報	117
≫天気予報	177

● まちがい電話を防ぐため、電話帳に番号を登録するときは、ディスプレイ表示を見ながら正しく登録してください。

登録した電話帳の番号や名前を修正することができます。



子機に登録した名前や番号を修正する

1 △ または ▽ で相手の方を選んだあと、（機能）を押す

▶特番ﾀﾞｲﾔﾙ
電話帳変更
消去
◀戻る　選択▶

2 △ または ▽ で「電話帳変更」を選び、▷電話帳 を押す

名前　[漢]
池田 悟
[機能] 決定

3 名前を入れ直す
（P.1-38、1-42～1-44）

名前　[漢]
池田 さとし
[機能] 決定

●名前を修正しないときは手順 4 に進みます。

4 （機能）を押す

読み　半 [ｶﾅ]
ｲｹﾀﾞ　ｻﾄｼｻﾄｼ
[機能] 決定

5 「読み」を入れ直す

読み　半 [ｶﾅ]
ｲｹﾀﾞ　ｻﾄｼ
[機能] 決定

●読みを修正しないときは手順 6 に進みます。

6 （機能）を押す

池田 さとし
0312345678
[機能] 決定

途中でやめるとき
切ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

7 電話番号（第１番号）を入れ直す

池田 さとし
0387654321
［機能］決定

●クリアボタンを押すたびに、表示されている最後の数字から順に消えます。そのあと、ダイヤルボタンで入れ直します。
●クリアボタンを２秒以上押し続けると、表示されている数字をすべて消すことができます。
●第１番号を修正しないときは手順８に進みます。

8 （機能）を押す

池田 さとし
09012345678
［機能］決定

9 電話番号（第２番号）を入れ直す

池田 さとし
09087654321
［機能］決定

●第２番号を修正しないときは手順10に進みます。

10 （機能）を押す

池田 さとし
登録しました
残り： 45

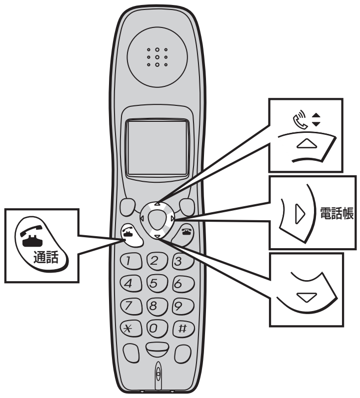
お知らせ

● 電話帳を登録するときに、名前を入力しなかったときは、電話番号（第１番号）が名前として登録されています。

子機の電話帳で電話をかける

電話帳に登録すると、簡単に相手の方を選ぶことができます。
電話帳は、「読み」の頭文字をもとに数字（０→９）→英字（Ａ→Ｚ）→50音順に並べられています。





子機の電話帳で電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 ▲ または ▼ で
相手の方を選ぶ

池田　さとし
▶0312345678
　09012345678
◀終了　　第2▶

途中でやめるとき
切ボタンを押す

●▼を押すと最初の方を表示します。
●▲を押すと最後の方を表示します。

2 **電話番号を選んだあと、**
通話 を押す

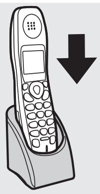
池田　さとし
09012345678

●最初は第１番号を選んでいます。
▶を押すと第２番号を選ぶことができます。
●子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。
●通話ボタンが点灯し、ダイヤルを始めます。

3 **相手の方とお話しする**



4 通話が終わったら
充電器に戻す

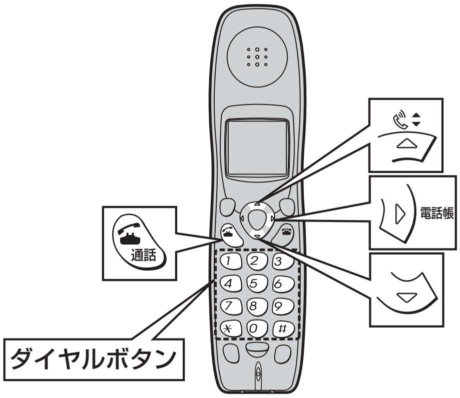


●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **184（非通知）や186（通知）などをつけて電話をかけるときは（特番ダイヤル）**

① ▲ または ▼ で相手の方を選ぶ
② ▶ で電話番号（第１番号または第２番号）を選んだあと、機能ボタンを押す
③ ▲ または ▼ で「特番ダイヤル」を選んだあと、▶ を押す
④ 「184」や「186」などをダイヤルする
⑤ 通話ボタンを押す（子機を置いたまま電話をかけるときはスピーカーホンボタンを押します。）
⑥ 通話が終わったら充電器に戻す（充電器に戻さないときは切ボタンを押します。）

名前の頭文字を入力して、相手の方を選ぶこともできます。



子機の電話帳から名前の頭文字を探して電話をかける

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 （電話帳）**を 2 回押す**

読み？ 半 [カナ]
◆：検索

2 相手の方の名前の頭文字をダイヤルボタンで入力する
（例）「い」で探す：
（7）**を 2 回押す**

読み　半 [カナ]
ィ
◆：検索

- 入力した文字から始まる相手の方を表示します。
- 該当する頭文字ではじまる名前が登録されていないときは、最も近い次の名前を表示します。

3 （▲）**または**（▼）**で相手の方を選ぶ**

池田 悟
▶0312345678
09012345678
◀終了　　第2▶

4 電話番号を選んだあと、（通話）**を押す**

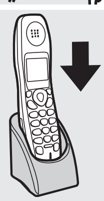
池田 悟
09012345678

- 最初は第 1 番号を選んでいます。（▶）を押すと第 2 番号を選ぶことができます。
- 相手の方の番号が表示され、ダイヤルを始めます。

5 相手の方とお話しする



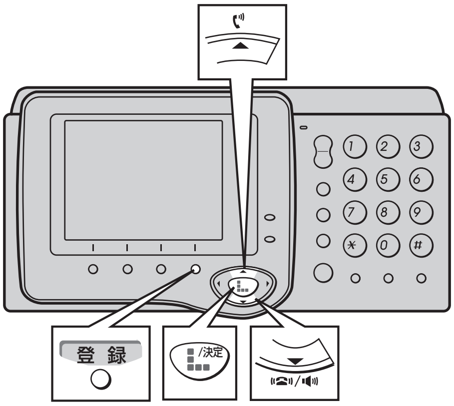
6 通話が終わったら **充電器に戻す**



- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

電話帳の内容を転送する

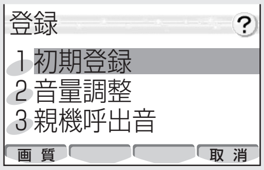
親機で登録した電話帳を、子機に転送することができます。
転送すると親機の電話帳の内容が子機に追加されます。



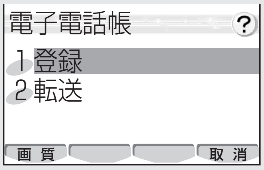
親機の電話帳の内容をすべて転送する

受話器を置いたまま操作します。

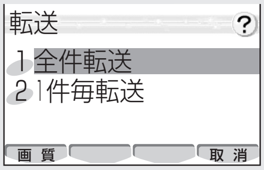
1 登録 を押す



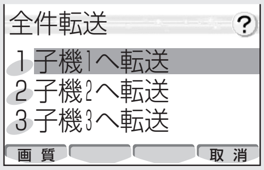
2 ▲ または ▼ で「電子電話帳」を選び、/決定 を押す



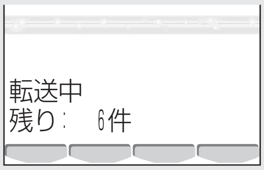
3 ▲ または ▼ で「転送」を選び、/決定 を押す



4 「全件転送」を選び、/決定 を押す



5 ▲ または ▼ で転送先の子機を選び、/決定 を押す



●転送が始まります。
●子機２～子機４（UX-W70KWは、子機３～子機４）は子機を増設していると選ぶことができます。

途中でやめるとき

停止ボタンを押す

１つ前に戻るとき

取消ボタンを押す

■ **親機の電話帳の内容を1件ずつ転送するときは**

①手順4で「1件毎転送」を選び（決定）を押す

②（▲）または（▼）で転送したい相手の方を選んだあと、（決定）を押す

③（▲）または（▼）で転送先の子機を選び（決定）を押す

第1番号か第2番号のどちらかが17ケタ以上の番号で登録している相手の方は転送できません。（メールアドレスのみの方も転送できません。）

■ **全角7文字（半角13文字）以上の名前で登録している相手の方を子機に転送するときは**

全角6文字（半角12文字）分までが転送されます。

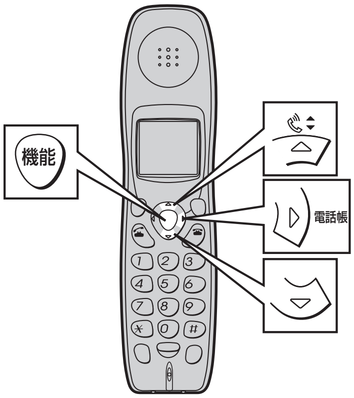
■ **「転送できないデータがあります　操作を続けますか」と表示したときは**

この表示は、17ケタ以上の電話番号が登録してあるときやメール宛先のみが登録されているときに表示されます。（決定）を押すとその相手の方以外を転送します。

お知らせ

- 工場出荷時にあらかじめ登録されている電話番号（天気予報、時報）を転送することはできません。
- 登録できる件数は100件です。100件を越えた電話帳の内容は転送できません。
- 子機と同じ名前、同じ電話番号で登録している相手の方は転送されません。
- 転送しても子機に登録されていた電話帳の内容は消えません。
- メールの宛先は転送されません。

子機で登録した電話帳を、親機に転送することができます。
転送すると子機の電話帳の内容が親機に追加されます。



子機の電話帳の内容をすべて転送する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 (機能) **を押す**

▶用件再生
優先呼出
着信音色
◀終了　選択▶

2 (▲) **または** (▼) **で「電話帳転送」を選んだあと、** (▷電話帳) **を押す**

転送する?
[機能] 決定

3 (機能) **を押す**

電話帳転送
完了しました

●通話ボタンが点滅します。
●「ピー」と鳴ったあと、左の表示が約30秒間表示されます。
（切ボタンを押すと消えます。）

■ 子機の電話帳の内容を1件ずつ転送するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① (▲) または (▼) で転送したい相手の方を選んだあと、機能ボタンを押す

② (▲) または (▼) で「電話帳転送」を選んだあと、(▶) を押す

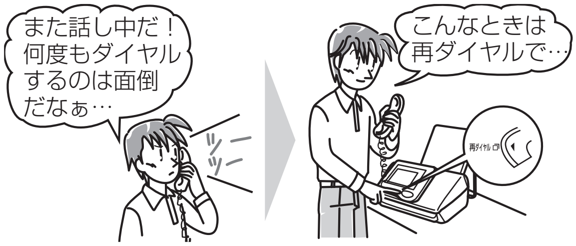
③ 機能ボタンを押す

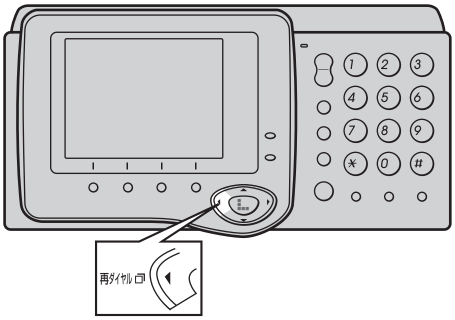
お知らせ

- 転送するときはできるだけ、まわりに他の子機や電気製品などがない場所で行ってください。電波障害などで転送できないことがあります。
- 転送中は、子機に衝撃を与えないようにしてください。転送できないことがあります。
- 登録できる件数は100件までです。100件を越えた電話帳の内容は転送できません。
- 工場出荷時にあらかじめ登録されている電話番号を転送することはできません。
- 親機と同じ名前、同じ電話番号で登録している相手の方は転送されません。
- 転送しても親機に登録されていた電話帳の内容は消えません。

電話をかけ直す（再ダイヤル）

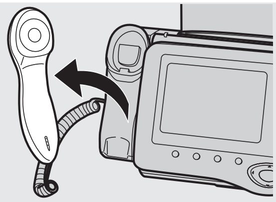
相手の方がお話し中などで、もう一度電話をかけ直すときは、再ダイヤルボタンを使って簡単に電話をかけ直すことができます。
親機では、最後にかけた電話番号が１件記憶されています。





親機で電話をかけ直す

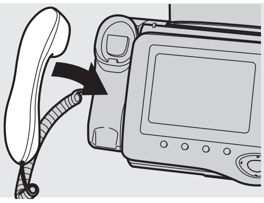
1 受話器を取る



2 「ツー」という音が聞こえたら
再ダイヤル **を押す**



3 通話が終わったら
受話器を戻す



途中でやめるとき

受話器を戻す
- スピーカーホンボタンを押して電話をかけ直したときはスピーカーホンボタンを押します。

- 受話器を置いたまま電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。
- 親機で再ダイヤルできる番号は32ケタまでです。
- まちがい電話を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押してください。
- 最後にかけた相手の方に電話をかけます。
- スピーカーホンボタンを押して電話をかけ直したときは、スピーカーホンボタンを押します。

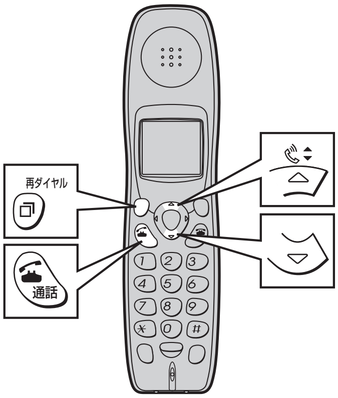
■ **親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは**

受話器を置いたまま操作します。
① 再ダイヤルボタンを押す
② キャッチ/消去 L回線断 を押す
③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去されます。

お知らせ

- 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。
- 再ダイヤルの番号は、親機と子機で別々に記憶しています。親機でかけた番号を子機で再ダイヤルすることや、子機でかけた番号を親機や他の子機で再ダイヤルすることはできません。

子機では、最大10件記憶されています。

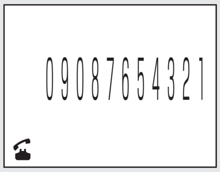


子機で電話をかけ直す

1 再ダイヤル **を押す**



2 **または** **で選んだあと、** 通話 **を押す**

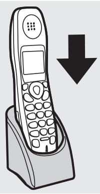


- 子機で再ダイヤルできる番号は最大32ケタまでです。
- 子機を置いたままで電話をかけ直すときはスピーカーホンボタンを押します。

3 **相手の方とお話しする**



4 通話が終わったら **充電器に戻す**



- 充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **子機の再ダイヤルの記憶を１件ずつ消去するときは**

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① （再ダイヤル）ボタンを押す

② ▲ または ▼ で消去したい再ダイヤルの記憶を選んだあと、▶ を押す

③ ▲ または ▼ で「消去」を選んだあと、▶ を押す

④ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴り、選んだ再ダイヤルの記憶を消去します。）

■ **子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは**

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① 機能ボタンを押す

② ▲ または ▼ で「再ダイヤル消去」を選んだあと、▶ を押す

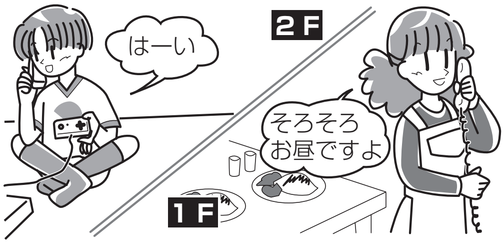
③ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴り、すべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

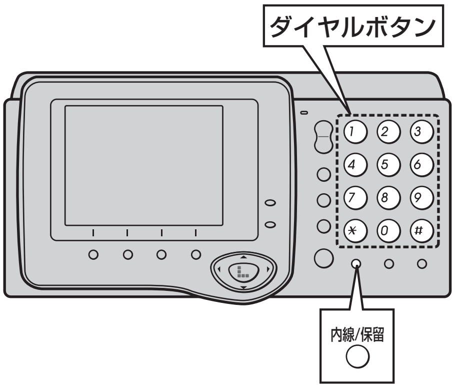
お知らせ

- 呼び出し中や通話中に誤ってダイヤルボタンを押すと、次に再ダイヤルしたとき、ちがうところに電話がかかることがあります。このときは、ダイヤルボタンを押してかけ直してください。

親機と子機の間でお話しする（内線通話）

親機から子機を呼び出して、お話しします。



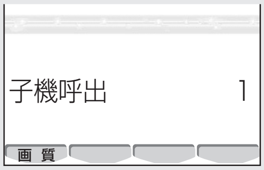


親機から子機を呼び出してお話しする

1 親機

受話器を取って 内線/保留 ○ を押し、子機の内線番号を押す

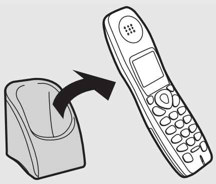
（例）子機1のとき 1



●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。

2 子機

呼出音が鳴ったら
充電器から取る



●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯します。

3 親機 子機

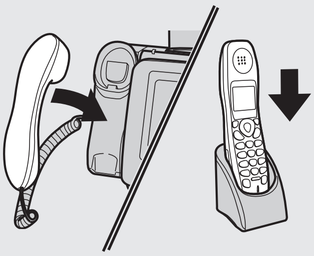
お話しする



4 お話し終わったら

親機
受話器を戻す

子機
充電器に戻す



●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **親機と子機の間で通話中に外から電話がかかってきたら**

親機と子機それぞれに呼出音が聞こえます。

親機で話すには

① 受話器を戻す（内線通話が切れます。）
② 受話器を取る（外の相手の方と通話できます。）

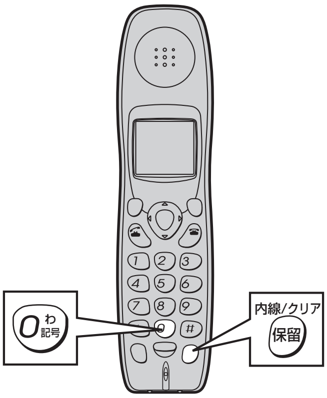
子機で話すには

① 切ボタンを押す（内線通話が切れます。）
② 通話ボタンを2回押す（外の相手の方と通話できます。）

お知らせ

● 親機のスピーカーホンでの内線通話はできません。
● 内線通話では、保留はできません。
● 内線通話中に、子機が親機に近づきすぎると、「ピー」という音が出ることがあります。

子機から親機を呼び出してお話しします。



子機から親機を呼び出してお話しする

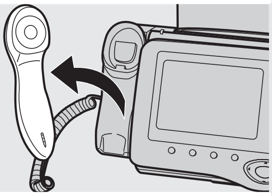
1 子機

子機を充電器から取って
内線/クリア保留 **を押し、親機の内線番号** 0わ記号 **を押す**

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る



3 親機 子機

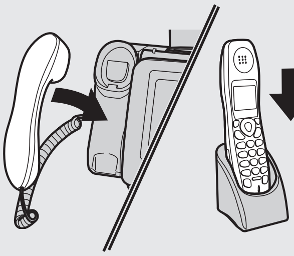
お話しする



4 お話し終わったら

親機
受話器を戻す

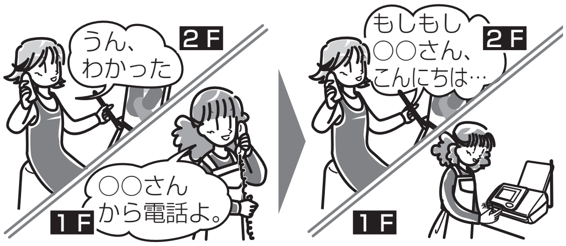
子機
充電器に戻す

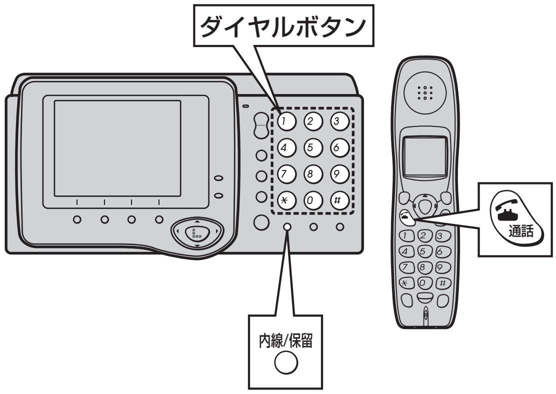


●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

電話をとりつぐ（とりつぎ転送）

親機で受けた電話を子機へとりつぐときの操作です。





親機から子機にとりつぐ

スピーカーホンで通話しているときは、受話器を取ってください。
スピーカーホン通話中はとりつぎ転送できません。

1 親機

通話中に 内線/保留 **を押し、子機の内線番号を押す**

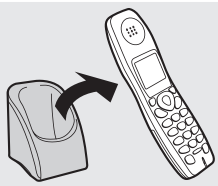
内線/保留 ▶ 1

（例）子機１のとき

- 相手の方には、保留メロディーが流れます。
- 子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
- 子機を増設しているときは、続けて他の子機の内線番号を押して呼び出すことができます。（内線シフトコール）

2 子機

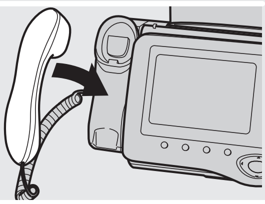
呼出音が鳴ったら
充電器から取る



- 通話ボタンが点灯します。
- 充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。

3 親機

電話をとりつぐことを伝えて
受話器を戻す



- 受話器を置くと、子機にとりつぎます。

■ 呼び出しても子機が出ないときは

（操作方法１）

① 保留ボタンを押す（呼び出しをやめて、保留になります。）

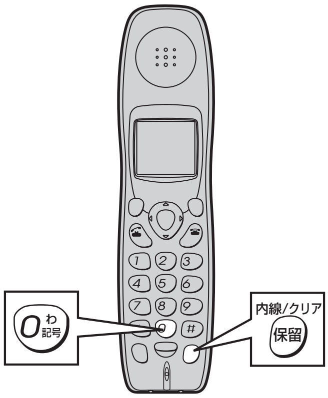
② もう一度保留ボタンを押す（相手の方との通話に戻ります。）

（操作方法２）

① 受話器を戻す

② 再度、受話器を取る（相手の方との通話に戻ります。）

外の相手の方からかかってきた電話を子機から親機にとりつぐときの操作です。



子機から親機へとりつぐ

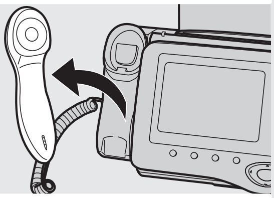
1 子機

通話中に 内線/クリア（保留） **を押し、親機の内線番号（0 わ 記号）を押す**

●通話ボタンが点滅します。

2 親機

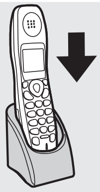
呼出音が鳴ったら、**受話器を取る**



●子機とお話しできます。

3 子機

電話をとりつぐことを伝えて**充電器に戻す**



●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。
●このあと、親機にとりつぎます。

■ 呼び出しても親機が出ないときは

① 保留ボタンを押す（呼び出しをやめて、保留になります。）
② もう一度保留ボタンを押す（相手の方との通話に戻ります。）

電話を自分ひとりでとりつぐ（ひとり転送）

かかってきた電話を自分ひとりで親機から子機、子機から親機にとりつぐことができます。
また、UX-W70KWをご利用時または、UX-W70CLで子機を増設された時は、子機から他の子機へとりつぐこともできます。

親機から子機へ

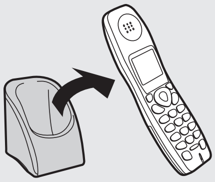
1 親機

通話中に 内線/保留 ○ **を押し、受話器を戻す**

●スピーカーホンで通話しているときでも、ひとり転送できます。

2 子機

充電器から取る



●充電器に置いていないときや、クイック通話を「解除」しているときは通話ボタンを押します。
●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

子機から親機へ

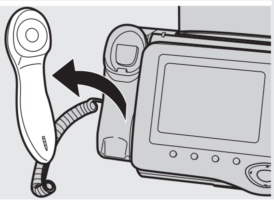
1 子機

子機で通話中に 内線/クリア（保留） **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 親機

呼出音が鳴ったら
受話器を取る



●相手の方とお話しできます。

子機から子機へ

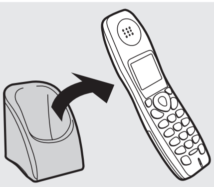
1 子機

子機で通話中に 内線/クリア（保留） **を押し、充電器に戻す**

●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

2 他の子機

充電器から取って
（通話） **を押す**



●通話ボタンが点灯して相手の方とお話しできます。

子機と子機の間でお話しする（子機間通話）（UX-W70KWのみ）

UX-W70KWをお使いのときは、子機から子機を呼び出してお話しすることができます。
UX-W70KWをご利用時に子機を増設したときは、増設子機を使ってお話しすることもできます。

UX-W70CLをご利用時に子機を増設しても、子機間通話はできません。子機間ひと声通知ができます。（P.7-16）

子機から子機を呼び出してお話しする(UX-W70KWご利用時)

1 子 機

子機を充電器から取って

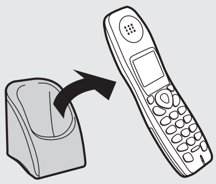
内線/クリア 保留 **を押し、子機の内線番号を押す**

（例）子機１のとき 1

●子機の内線番号は子機のディスプレイに表示している番号です。
●通話ボタンが点滅します。

2 他の子機

呼出音が鳴ったら、
充電器から取る



●通話ボタンが点灯します。
●充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。

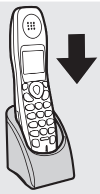
3 子 機　他の子機

お話しする



4 子 機　他の子機

充電器に戻す



●充電器に戻さないときは切ボタンを押します。

■ **子機間通話中に外から電話がかかってきたら**

子機と子機との間で通話中に呼出音が聞こえます。（親機では呼出音は鳴りません。）

子機で話すには

① 切ボタンを押す（内線通話が切れます。）
② 通話ボタンを押す（外の相手の方と通話できます。）

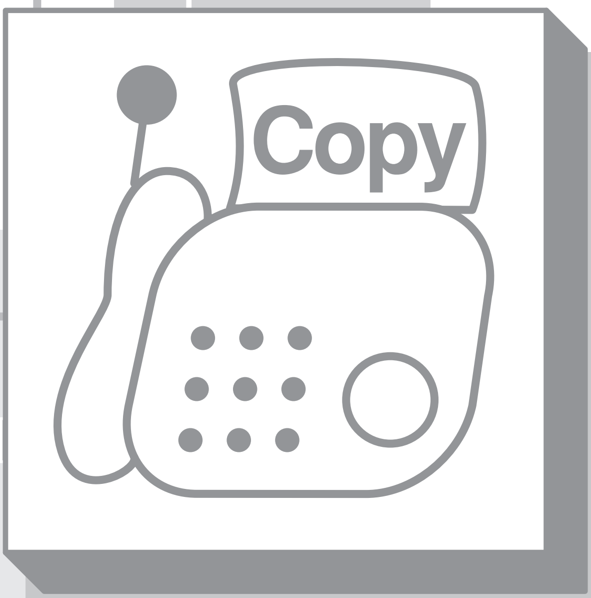
お知らせ

● ハンドコピーに記録されているデータやメモリー受信したデータを親機のディスプレイに画像表示しているときは、内線通話はできません。

メモ

4章

コピー

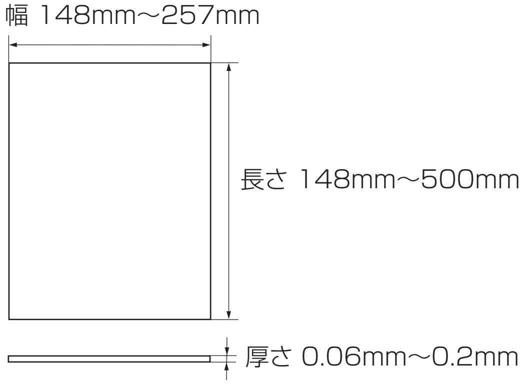


コピーやファクスをする前に

原稿は、一度に5枚までセットできます。



■ セットできる原稿のサイズ

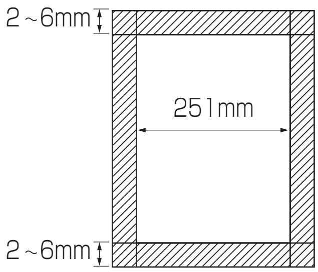


- コピーするときは記録紙がA4サイズなので A4サイズの原稿（210mm×297mm）までしかプリントできません。

■ 原稿を読み取れる範囲

原稿を読み取るときは、実際に読み取れる範囲が決まっています。原稿の端の部分は読み取れませんので、ご注意ください。

- 最大読み取り幅　251mm
- 最大読み取り長　送信原稿長 (148〜500mm)から上下とも2〜6mmを引いた長さ



■ 一度に2枚以上セットできない原稿

- 長さ364mmを超える原稿
- キャリアシートにはさんだ原稿
- 厚さ0.12mm（90kg用紙……四六判（788×1091mm）の用紙1000枚の重量）を超える原稿
- 厚さや大きさの異なる原稿

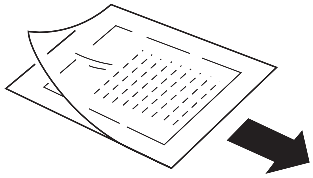
■ 自動縮小機能について

ファクス送信のとき、原稿サイズがB4で、相手側の記録紙がA 4サイズのときは、自動的にA4サイズに縮小します。

■ そのままではセットできない原稿

次のような原稿は複写機でコピーをとるか、キャリアシート※（別売品　P. 11-2）にはさんでから1枚ずつセットしてください。

- サイズが規定より小さすぎるもの（例：写真など）
- フィルム状のもの
- 紙の厚さが薄すぎるもの
- しわ、破れ、折り目やソリのあるもの
- 裏カーボン紙、感熱紙など
- コーティングされているもの



※ キャリアシート（別売品）とは
破れた原稿や薄い原稿など、そのままではセットできない原稿をはさんでファクスを送ったり、コピーしたりするための透明なビニールシートです。

お知らせ

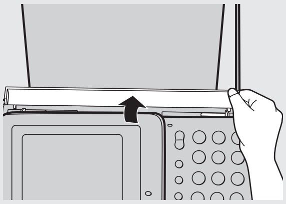
- クリップやホッチキスの針は、必ず取り外してください。故障の原因になります。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。原稿送りローラやガラスの汚れの原因になります。（P.10-3、10-5）
- 原稿は無理に引き出さないでください。無理に引っ張ると読み取り面やインクリボンに傷がつきます。「原稿や記録紙がつまったときは」を参照して取り出してください。（P.10-6）

コピーや送信する面をウラ向きにして、原稿挿入口に入れてください。（一度に 5 枚まで）

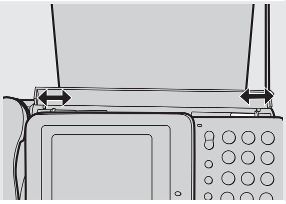


原稿をセットする

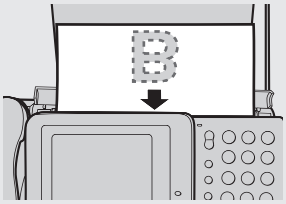
1 原稿挿入口カバーを開ける



2 原稿ガイドを原稿の幅に合わせせる



3 原稿はウラ向きに！コピーや送信する面を下にしてセットする（一度に 5 枚まで）



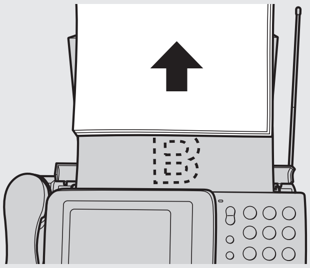
●原稿が自動的に少し引き込み始めたら、手を離してください。

■ **6 枚以上の原稿があるとき**

5 枚の原稿をセットしたあと、コピーやファクス中に原稿が送られて減った枚数分を、セットされている原稿の一番上に追加してください。

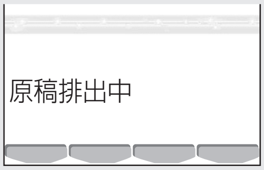
セットした原稿を取り出す（原稿排出）

1 一番下にある原稿を残して、その他の原稿を取り除く

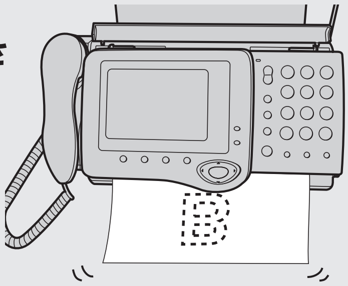


●原稿が１枚だけのときは、そのまま手順２へ進みます。

2 機能選択 を押して、▲ または ▼ で「原稿排出」を選び、/決定 を押す



3 原稿が自動的に排出される



●原稿が排出されないときは（P.10-6）

コピーの禁止について

ファクシミリで原稿をコピーする場合、コピーしたものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。また、ハンドコピーを使って原稿を読み取る場合、複製したものを所有するだけで法律で罰せられるものがあります。ご注意ください。

■法律で禁止されているもの

●紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券をコピー（複製）する事は禁止されています。たとえ、見本の印が押してあっても、複製してはいけません。
（通貨及証券模造取締法、紙幣類似証券取締法）

●外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピー（複製）もできません。
（外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律）

●未使用の郵便切手、官製はがきなどは政府の許可を受けないでコピー（複製）することは禁じられています。
（郵便切手類模造等取締法）

●政府発行の印紙および酒税法や物品税法などで規定されている証紙などもコピー（複製）できません。
（印紙等模造取締法）

■コピー（複製）する場合に注意を要するもの

●民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務用に最低必要部数をコピー（複製）する以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

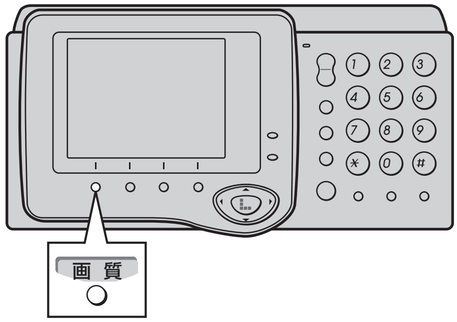
●政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、身分証明書や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられています。

■著作権に注意するもの

●著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用するため以外は、コピー（複製）を禁止されています。

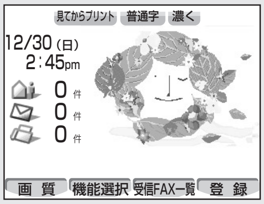
原稿の文字の大きさや濃さ、写真など、種類に合わせて、画質や濃さを選んでコピーやファクスができます。





画質・濃度を選ぶ

画質 を押すたびに切り替わる



● 1 回押すと「普通字」を表示します。画質・濃度を表示中にもう 1 回押すと切り替わります。

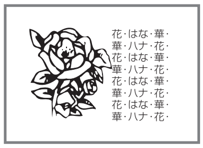
「普通字」→「小さな字」→「精細」→「写真」→「普通字　濃く」→「小さな字　濃く」→「精細　濃く」→「写真　濃く」→（「普通字」へ戻る）

一巡すると「濃く」を表示し、濃度が変わります。

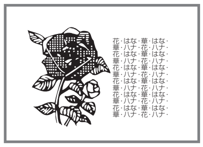
「普通字」／「普通字　濃く」
●文字が大きくはっきり見えるときに選びます。



「小さな字」／「小さな字　濃く」
●文字が小さな字のときに選びます。
（「普通字」の倍の密度で読み取ります。）
画像が小さくなる（縮小される）ことはありません。



「精細」／「精細　濃く」
●細い線を使った図面や、更に小さな字のときに選びます。
（「普通字」の 4 倍の密度で読み取ります。）
受信側に「精細」が無いときは、自動的に「小さな字」に切り変わります。



「写真」／「写真　濃く」
●濃淡のある原稿（カラーの原稿）や、写真のときに選びます。



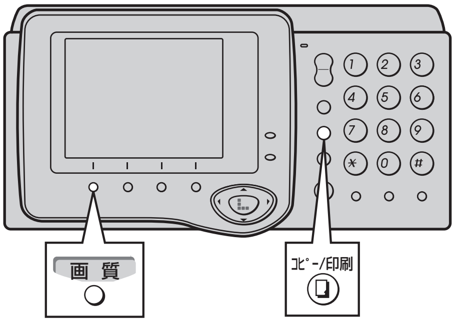
お知らせ

- 「普通字」に比べると、「小さな字」「精細」「写真」で送ると送信時間が長くかかります。
- コピーをするときは、「普通字」を選んでも、「小さな字」でコピーされます。
- ファクスを送信するときは、自動的に「小さな字」を選んでいます。
- ファクスやコピー中に画質選択を切り替えると、次の原稿から画質が変わります。
- 「小さな字」でカラーの原稿や写真をコピーすると、配色によって部分的に写らなかったり、黒く写ることがあります。

コピーする

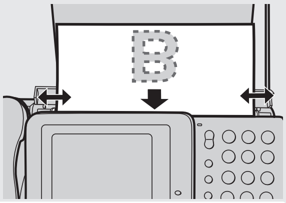
一度に 5 枚まで原稿をセットしてコピーすることができます。



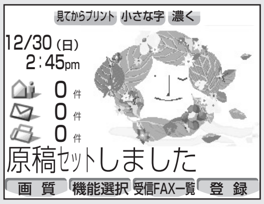


コピーする

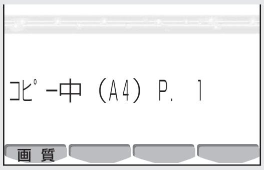
1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットする



2 画質 **を押して画質を選ぶ**



3 ｺﾋﾟｰ/印刷 **を押す**



途中でやめるとき

停止ボタンを押す
（コピー中の記録紙が出てきます。このあと原稿が自動的に出てきます。）

●コピーする面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

●コピーが始まります。

■ B4サイズの原稿をセットしたときは

80%に縮小コピーしてください。（P.4-7）
B4幅の原稿を等倍コピーすると端が切れて、A4幅でプリントされます。

■ コピーの途中で画質を切り替えるときは

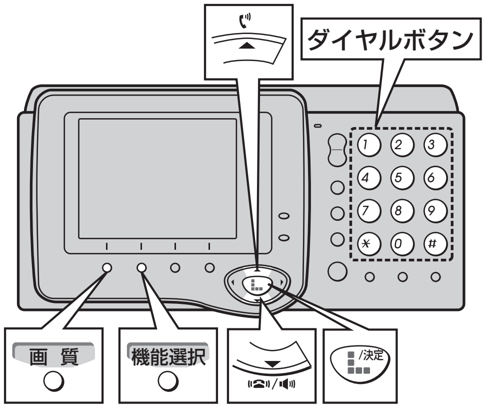
コピー中に画質ボタンを押すと次のページから画質が切り替わります。（コピー中の原稿の画質を変えることはできません。）

お知らせ

- コピーボタンは点灯しません。
- 通話中にコピーを始めることはできません。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときは、親機または子機で発信することはできません。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに電話がかかってきたときは、親機のスピーカーホンボタンを押してもスピーカーホン通話できません。子機または受話器を取ってお話しください。
- 一度、画質・濃度を選ぶと、コピーやファクスが終わるまで選んだ画質になります。停止ボタンを押すと選んだ画質が取り消されます。

コピーの種類を選んでコピーする

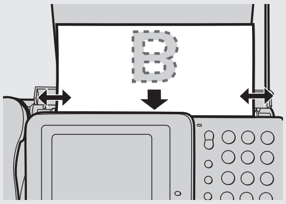
拡大／縮小コピーや同じ原稿の複数枚のコピー（マルチコピー）などができます。



コピーの種類を選んでコピーする

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ

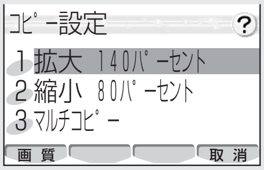
原稿をウラ向きにセットしたあと、 画質 を押して画質を選ぶ



●コピーする面を下にしてセットします。（一度に５枚まで）

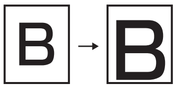
2 機能選択 **を押し、「コピー設定」を選び、** /決定 **を押す**

3 ▲ **または** ▼ **でコピーの種類を選び、** /決定 **を押す**

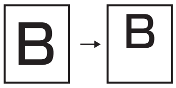


手順３のときに……

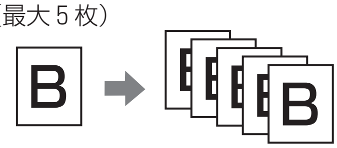
「拡大140パーセント」を選んだとき
140%に拡大してコピーします。



「縮小80パーセント」を選んだとき
80%に縮小してコピーします。



「マルチコピー」を選んだとき
複数枚のコピーをします。
1 ～ 5 を押して枚数を入力し、最後に /決定 を押すとコピーします。
（最大５枚）



■ **マルチコピーのときにコピー枚数をまちがえたときは**
取消ボタンを押してもう一度、枚数を入力します。

お知らせ

- メモリー受信したデータがあるときは、拡大／縮小、マルチコピーはできません。
- 拡大・縮小、マルチコピーでは、画像をいったんメモリーに読み込みます。メモリー容量が少なくなって「メモリー残量不足」と表示されたときは、通常の等倍コピーでコピーするかハンドコピーでコピーしてください。

コードレスハンドコピーをお使いになる前に

コードレスハンドコピーを使うと、ノートなどのとじ込み原稿や、セットできない大きさの原稿をコピーできます。また、コードレスなので離れた場所でもコピーできます。
ハンドコピーをお使いになるときは、ハンドコピーを取り外す前に、倍率（0.8、1.0、1.4）、読み取り幅（A4またはB4）をそれぞれ設定します。



読み取り幅を選ぶ

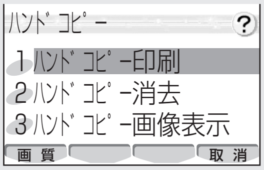
ハンドコピーを本体に取り付けた状態で操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

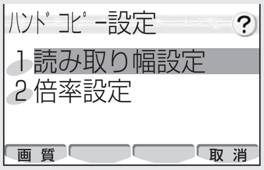
１つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

1 機能選択 ○ **を押す**

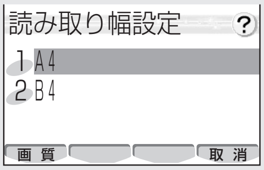
2 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピー」を選び、** 決定 **を押す**



3 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピー設定」を選び、** 決定 **を押す**



4 「読み取り幅設定」を選び、 決定 **を押す**



5 ▲ **または** ▼ **で読み取り幅を選び、** 決定 **を押す**

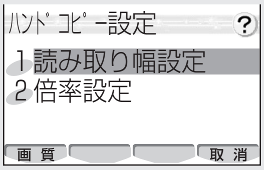
- 「A4」は210㎜幅、「B4」は251㎜幅で読み取ります。
- ハンドコピーでファクスを送るとき（P.4-18～4-19）または縮小コピーする（倍率が0.8倍）とき以外は「A4幅」にセットしてください。記録紙がA4サイズなので、A4幅までしかプリントできません。ハンドコピーでファクス送信するときは、A4幅を超えた部分はプリントして確かめることはできませんが、相手の方には送信することができます。

6 停止 ◎ **を押す**

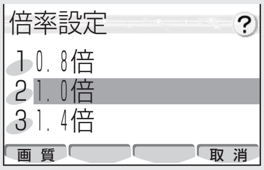
倍率を選ぶ

ハンドコピーを本体に取り付けた状態で操作します。

1 「読み取り幅を選ぶ」の手順1～3を行う
（P.4-8）



2 または で「倍率設定」を選び、を押す



3 または で倍率を選び、を押す

● 「0.8倍」、「1.0倍」、「1.4倍」の中から選ぶことができます。

4 停止 を押す

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

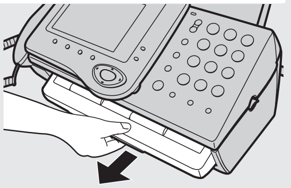
1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

ハンドコピーを本体から取り外す

1 ハンドコピーの真ん中を少し下へ押さえる

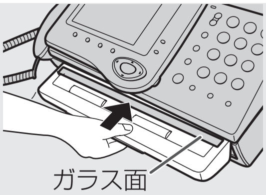


2 押さえながらハンドコピーを手前に引き出す

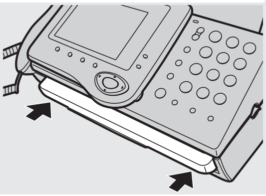


ハンドコピーを本体に取り付ける

1 ハンドコピーのガラス面を必ず上にして本体に戻す



2 ハンドコピーの両端を矢印の方向に奥までしっかり押し込む



■ ハンドコピーが正しく取り付けられなかったときは

- 音声で「ハンドコピーをセットし直してください。」と2回お知らせしたあと、ディスプレイに「ハンドコピーを再セット」と表示されます。正しくセットし直してください。
  [操作ガイド]を押すと、ハンドコピーのセット方法を確認することができます。
- ハンドコピーが正しく取り付けられていないときは、原稿をセットしたときに、ディスプレイに「ハンドコピー外れています」と表示され、ファクスを送ったりコピーができません。

■ ハンドコピーの充電池残量について

ハンドコピーの充電池残量がなくなると、「ピピッ、ピピッ」と警告音が鳴ります。ハンドコピーを本体に取り付けて充電してください。
充電池の残量がなくなると、読み取った内容は全て消えてしまいます。

（**連続動作時間　約1.5時間**
動作待機時間　約3時間）

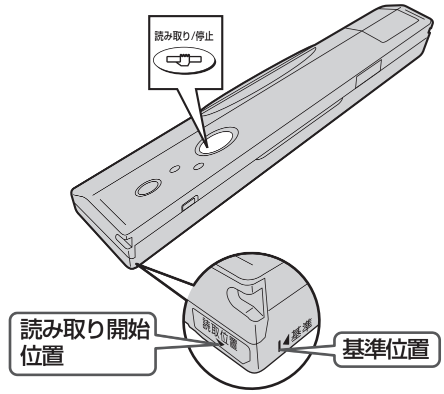
お知らせ

- 充電池を交換したときや充電池の残量が完全になくなったときは、必ず6時間以上充電してください。（充電時間が短いと、ハンドコピーを使用したときに、警報音が鳴らずに突然ハンドコピーが使用できなくなったり、コピーした画像が悪くなることがあります。）
- ハンドコピーを使用しないときは、本体にハンドコピーを取り付けてください。
  本体に取り付けておくと充電されます。

コードレスハンドコピーを使う

ハンドコピーで読み取った内容をプリントするときの操作です。ハンドコピーの取り外しかたや設定のしかたは「コードレスハンドコピーをお使いになる前に」をご覧ください。(P.4-8～4-10)



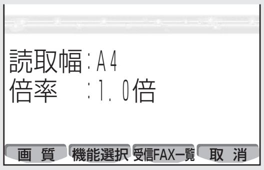


- ファクスを送る前に、読み取ったデータをプリントして確認する場合は、「ハンドコピープリント」の設定を「すべてプリント」にします。（P.5-28）
- プリントせずに、ファクスを送る場合は「ハンドコピープリント」の設定を「見てからプリント」にします。（P.5-28）

ハンドコピーで読み取ってすぐにプリントする

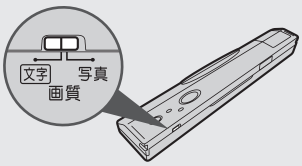
あらかじめ、ハンドコピーの読み取り幅と倍率を選んでおきます。

1 ハンドコピーを本体から取り外す
（P.4-10）



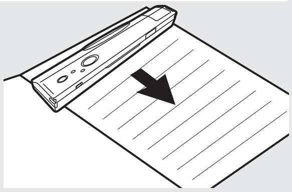
- 本体（親機）のディスプレイに設定している読み取り幅と倍率を表示します。

2 読取画質スイッチで読み取り画質を選ぶ



- 文字原稿を読み取るときは、**「文字」**にセットします。
- 写真や濃淡のある原稿を読み取るときは、**「写真」**にセットします。

3 読み取る原稿の左端を読取位置と基準に合わせて、（読み取り/停止）を押す



- 動作中ランプが点灯します。

次ページへ→

→つづき

4 矢印の方向に動かす

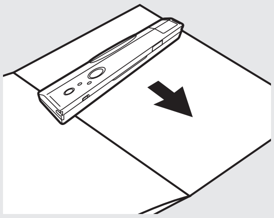
動作中 **緑色点灯**　読み取る前は、緑色に点灯しています。

↓

動作中 **緑色点滅**　読み取り始めると緑色に点滅します。

↓

動作中 **緑色点灯**　読み取り終わると緑色の点灯に戻ります。

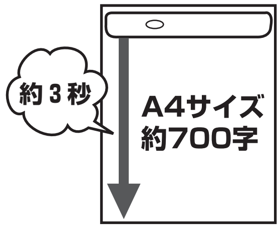


- ハンドコピーを動かすと読み取りを始めます。
  ハンドコピーの底を原稿に押し当てるようにして、手前に動かしながら読み取ってください。

動作中 **赤色点灯**　ハンドコピーを動かす速度が速すぎると「ピー」と鳴って赤色に点灯します。
→もう少しゆっくりと動かしてください。

動作中 **消灯**　読み取り中にメモリーがいっぱいになると「ピピピピ」と鳴って消灯します。
→これ以上読み取れません。
メモリーに記録されている分をプリントし、不要なメモリーを消去します。

- 読み取りを失敗したときは、消去 を約２秒間押すとすぐに消去できます。（P.4-14）
- 読み取る画質や倍率によって、速度を変えてハンドコピーを動かします。
  「文字」にセットして、倍率を「0.8倍」または「1.0倍」にセットしたとき
  A4サイズの当社標準原稿（英文字で約700字程度の原稿）を約３秒で読み取るぐらいの速度がめやすです。



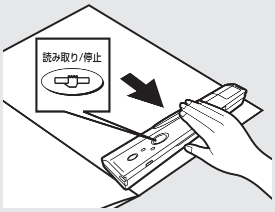
  「写真」または倍率を「1.4倍」にセットしたとき
  この速度よりもゆっくりと動かします。
- 速すぎると動作中ランプが赤色に点灯して「ピー」音が鳴りますので、もうすこし、ゆっくり動かしてください。遅く動かしても問題ありません。
- 読み取り/停止ボタンを押したあと、約30秒間何も操作しないと読み取りが停止します。

アドバイス！
- ハンドコピーをまっすぐに動かしにくいときは、厚手の定規などをハンドコピーの左端に置き、それに添わせて動かすと曲がりにくくなります。

次ページへ→

→つづき

5 読み取りが終わったら
読み取り/停止 **を押す**

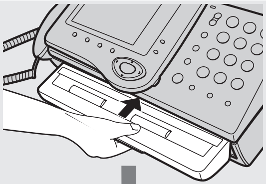


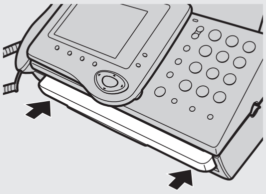
このあと、動作中ランプが緑色の速い点滅に変わりメモリーに記録します。

↓

動作中ランプが消灯して、「ピー」と鳴ったら、メモリーへの記録が終了です。
続けて読み取るときは、もう一度手順 2 から操作をしてください。

6 **ハンドコピーを本体に取り付ける**
（P.4-10）





- 新しく読み取った枚数を表示し、自動的にプリントを開始します。
- 「ハンドコピープリント」（P.5-28）の設定を「見てからプリント」にしているとハンドコピーを本体に取り付けてもプリントを開始しません。プリントするときは「ハンドコピーに記録されているデータをプリントする」（P.4-16）または「ハンドコピーに記録した内容を画面で確認する（見てからプリント機能）」（P.4-17）を操作してください。
- プリントを途中でやめるときは停止ボタンを押します。

■ A4サイズより長く読み取ったときは

A4サイズを越える部分はプリントしません。
「分割コピー」（P.5-28）の設定を「する」にするとA4サイズ以上の部分を 2 枚に分けてプリントするようにできます。

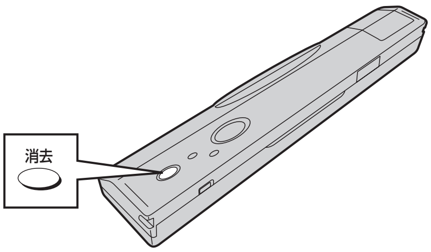
■ ハンドコピーで読み取ったデータをディスプレイで確認してからプリントしたいときは

① 「ハンドコピープリント」（P.5-28）の設定を「見てからプリント」にする（ハンドコピーで読み取ったあと、本体に取り付けても、すぐにプリントしなくなります。）
② P.4-11～4-13の操作をする
③ P.4-17の操作をする

お知らせ

- 記録紙やインクリボンがないときは、自動的にプリントされません。
  記録紙やインクリボンをセットして、ハンドコピーに記録されているデータをプリントする操作（P.4-16）をしてください。
- ハンドコピーを本体に取り付けたとき「ハンドコピーをセットし直してください。」と音声が流れたら、ハンドコピーを取り付け直してください。ハンドコピーを取り付け直すと「新しいデータがありません」とメッセージが表示されます。
  このときは、新しいデータとして、プリントできませんので、すべてのデータを指定するか、ページ番号を指定してプリントしてください。
- 拡大コピーするときは、基準位置から約15cm程度の幅で、読み取ってください。拡大したあとの大きさがA4サイズを超えるものはプリントした画像が切れてしまいます。
- とじ込み原稿など、中央に段差のある原稿を読み取るときは、ハンドコピーと原稿の間にすきまができないように読み取ってください。すきまがあると読み取り部分が黒くなったり文字がぼやけたりします。
- 糊や修正液、ボールペンのインクなどは、よく乾かしてください。読み取り面のガラスが汚れます。ガラス面が汚れると、読み取ったデータをプリントしたときに白や黒い線が出る原因となります。

読み取りをやり直したいときなど、読み取ったあとすぐに消去するときの操作です。



読み取ったあとすぐに消去する

ハンドコピーを取り外したままで操作します。

1 消去を約2秒間押す

- 「ピッ」と鳴って、最後に読み取ったデータを1件だけ消去します。
  続けて消去するときは、もう一度 消去 を約2秒間押します。
- すべての読み取ったデータを消去すると「ピピッ」と鳴って、メモリーランプが消灯します。

■ ハンドコピーを本体に取り付けたあと消去するときは

ハンドコピーを本体に取り付けたあと消去したいときは、「ハンドコピーの内容を消去する」（P.4-15）の操作で消去してください。

■ ハンドコピーの記録枚数について

ハンドコピーで読み取った内容は、メモリーに記録されます。記録できる枚数は次の通りです。

記録枚数	約36枚（「文字」で読み取ったとき） ※A4サイズの当社標準原稿（英字で文字が約700字程度の原稿） （「写真」で読み取ったときはA4サイズ約3枚）
記録件数	最大60件
読み取る長さ	最大1m

グラフや表、写真などのある原稿を「文字」で読み取ったときは、記録できる枚数は少なくなります。

■ ハンドコピーのメモリー残量について

ハンドコピーのメモリー残量はメモリーランプの点灯状態でわかります。

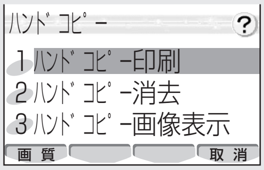
ランプの点灯状態	メモリー残量
メモリー 消　灯	メモリーに何も記録されていないとき
メモリー 緑色点灯	メモリーに読み取った内容が記録されているとき
メモリー 緑色点滅（ゆっくりした点滅）	メモリーが残り少なくなっているとき
メモリー 緑色点滅（速い点滅）	メモリーがいっぱいで、これ以上記録できないとき

ハンドコピーを本体に取り付けたあと、消去するときの操作です。

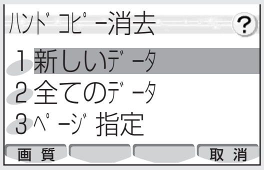
ハンドコピーの内容を消去する

1 機能選択 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピー」を選び、** 決定 **を押す**



3 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピー消去」を選び、** 決定 **を押す**



4 ▲ **または** ▼ **で消去するデータを選ぶ**

- **新しく読み取った内容を消去するとき**
  「新しいデータ」を選ぶ
- **メモリーに残っているすべての内容を消去するとき**
  「全てのデータ」を選ぶ
- **ページ番号を指定して消去するとき**
  「ページ指定」を選び 決定 を押す→ ページ番号を入力して 決定 を押す → 最後にもう一度 決定 を押す
  （この操作をくり返すと複数のデータを消去できます。）

  （例）1ページ目と2ページ目を消去するとき
  「ページ指定」を選び 決定 を押す ──→
  → 1 決定 2 決定 最後にもう一度→ 決定 を押す

5 決定 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

●まちがえて入力したときは取消ボタンを押します。
●新しいデータ※をすべて消去します。
※「新しいデータ」とは
最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータを指します。

●ページ番号がわからないときはP.4-17の操作で確認してください。

お知らせ

● ハンドコピーを本体に取り付けたとき「ハンドコピーをセットし直してください。」と音声が流れたら、ハンドコピーを取り付け直してください。ハンドコピーを取り付け直すと「新しいデータがありません」とメッセージが表示されます。
このときは、新しいデータとしての消去はできませんので、全てのデータを指定するか、ページ番号を指定して操作してください。

読み取った内容は消去するまでくり返しプリントすることができます。また、必要なページだけをプリントすることもできます。
プリントする前に画面で確認することができます。
（P.4-17）

ハンドコピーに記録されているデータをプリントする

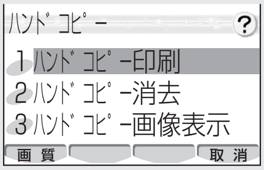
ハンドコピーを本体に取り付けた状態で操作します。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

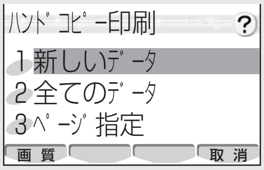
1 機能選択 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピー」を選び、**（決定） **を押す**



●まちがえたときは取消ボタンを押します。

3 **「ハンドコピー印刷」を選び、**（決定） **を押す**



4 **プリントするデータを選ぶ**

- **新しく読み取った内容を消去するとき**
  「新しいデータ」を選び、（決定） を押す
- **メモリーに残っているすべての内容を消去するとき**
  「全てのデータ」を選び、（決定） を押す
- **ページ番号を指定してプリントするとき**
  「ページ指定」を選び、（決定） を押す→
  → ページ番号を入力して （決定） を押す→
  → 最後にもう一度 （決定） を押す
  （この操作をくり返すと複数のデータをプリントできます。）

  （例） 1ページ目と2ページ目をプリントするとき
  「ページ指定」を選び、（決定） を押す ──→
  → （1）（決定）（2）（決定） 最後にもう一度→ （決定） を押す

●新しいデータ※をすべてプリントします。
※「新しいデータ」とは
最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータを指します。

5 コピー/印刷 **を押す**

●プリントを開始します。

ハンドコピーで読み取った内容を画面に表示させて、
プリントする前に内容を確認できます。

ハンドコピーに記録した内容を画面で確認する(見てからプリント機能)

この機能を使うときは、あらかじめ「ハンドコピープリント」の設定（P.5-28）を「見てからプリント」にしておきます。

1 ハンドコピーで読み取る
（P.4-11～4-13）

●読み取ったあと、ハンドコピーを本体に取り付けた状態で手順2からの操作を行ってください。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

2 機能選択 を押す

3 ▲ または ▼ で「ハンドコピー」を選び、/決定 を押す

ハンドコピー
1 ハンドコピー印刷
2 ハンドコピー消去
3 ハンドコピー画像表示
画質　取消

4 ▲ または ▼ で「ハンドコピー画像表示」を選び、/決定 を押す

ハンドコピー画像表示
全てのデータ　3 枚
NO. =
ダイヤルでセットください
画質　取消

5 表示させたいページ番号を入力する
（例） 2

ハンドコピー画像表示
全てのデータ　3 枚
NO. =2
[L/決定] で決定
画質　取消

6 /決定 を押す

●記録されているデータを表示します。
●スクロール／拡大／縮小／回転／プリントすることができます。（P.5-22～5-23）

7 確認が終わったら
停止 を押す

●待機画面に戻ります。

■ 表示しているデータをプリントするときは

表示中にコピーボタンを押すと、表示中のページをプリントします。（プリントしたあとは、待機画面に戻ります。）

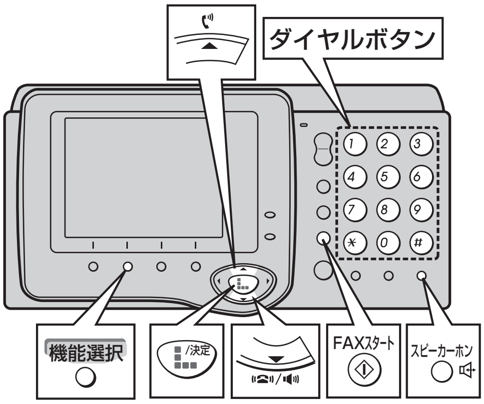
お知らせ

● 読み取り幅を「B4」で読み取っても、データはA4幅までしか表示されません。また長さもA4までしか表示されません。

コードレスハンドコピーでファクスを送る

あらかじめ、ハンドコピーで読み取ったデータをファクス送信するときの操作です。



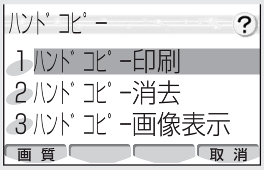


ハンドコピーでファクスを送る

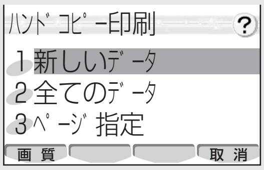
送りたい原稿をハンドコピーのメモリーに記憶させておいてください。（P.4-11～4-13）
ハンドコピーを本体に取り付けた状態で操作します。

1 機能選択 **を押す**

2 ▲ **または** ▼ **で「ハンドコピー」を選び、** /決定 **を押す**



3 「ハンドコピー印刷」を選び、 /決定 **を押す**



途中でやめるとき

送信データを選んでいるときは停止ボタンを押す
通話中は受話器を戻す
●スピーカーホンでダイヤル中のときはスピーカーホンボタンを押します。

1つ前に戻るとき

取消ボタンを押す

次ページへ→

→つづき

4 ファクスを送るデータを選ぶ

・新しく読み取ったデータを送るとき
「新しいデータ」を選び、（/決定）を押す

・メモリーに残っているすべてのデータを送るとき
「全てのデータ」を選び、（/決定）を押す

・ページ番号を指定して送るとき
(1)「ページ指定」を選ぶ
(2) ページ番号を入力し、（/決定）を押す
（(2)の操作をくり返すと複数のページを指定できます。）

（例） 1ページ目と2ページ目を指定するとき
① 「ページ指定」を選ぶ
② （1）（/決定）と押す（1ページ目を選択）
③ （2）（/決定）と押す（2ページ目を選択）

(3) （/決定）を押す

●新しいデータ※をすべて送信します。
※「新しいデータ」とは
最後にハンドコピーを取り外したとき読み取ったすべてのデータを指します。

5 受話器を取るか、（スピーカーホン）を押して

「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

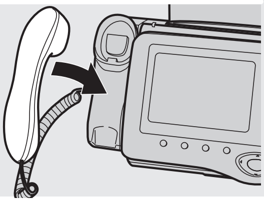
●電話帳を使ってダイヤルすることもできます。（P.3-17）
●通話中のときはこの手順をとばして手順6へ。

6 相手の方にファクスを送ることを伝えて

（FAXスタート）を押す

●相手の方とお話しせずにファクスを送りたいときは、電話がつながったらスタートボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 P.5-3）

7 受話器を戻す



●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときは自動的に回線が切れます。

お知らせ

● 見てからプリント機能（P.4-17）の操作でハンドコピーに記録されているデータを表示したままでファクスを送ることはできません。

メモ

5章

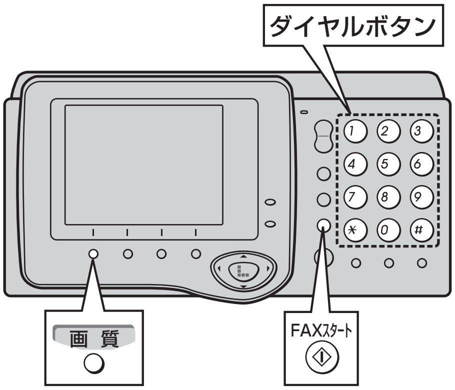
ファクス



ファクスを送る

ファクスを送るときの操作です。
原稿は一度に 5 枚までセットできます。

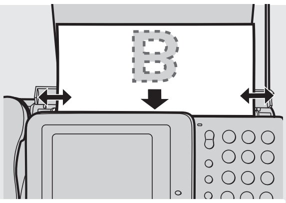




操作ガイド ? を押すとファクス送信の案内が表示されます。

ファクスを送る

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット

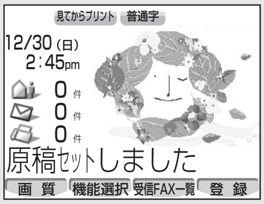


途中でやめるとき

受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押します。

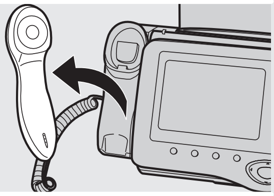
●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 画 質 **を押して画質を選ぶ**
（P.4-5）



●画像を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 受話器を取る



●受話器を置いたままダイヤルするときは、スピーカーホンボタンを押します。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは（P.5-4）

4 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする



●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

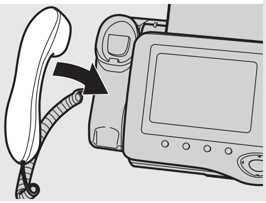
次ページへ→

→つづき

5 相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて FAXｽﾀｰﾄ **を押す**

- ●相手の方が電話を受けたらお話しすることができます。
- ●相手の方のファクシミリが留守番電話のときはその案内に従って操作します。
- ●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信）
- ●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。P.10-6）

6 受話器を戻す



- ●ファクス送信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえます。

■ **6 枚以上の原稿があるときは（P.4-3）**

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら（P.10-21）**

■ **セットした原稿を取り出すときは（P.4-4）**

■ **ファクスを送信したときの終了音を切り替えるときは**

「終了音」（P.5-26）で切り替えます。

■ **おまかせ送信とは**

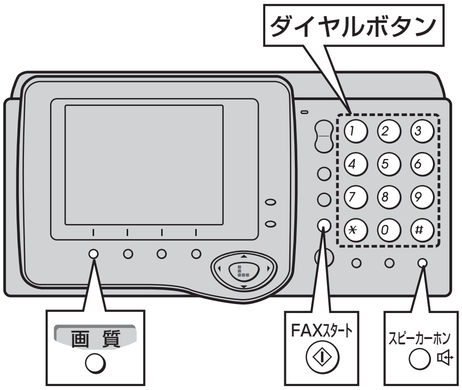
相手の方が受信操作をすると「ピー」という音（ファクス受信音）が聞こえ、「ファクスを送信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクス送信します。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

お知らせ

- ● ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は、相手の方のファクシミリに登録されている番号です。実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。必要に応じて相手の方に確認してください。

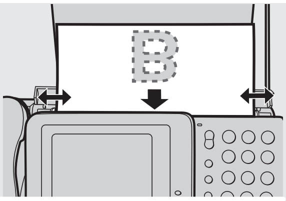
相手の方のファクシミリがファクス専用のときやお話ししないで送るときの操作です。



お話ししないでそのままファクスを送る

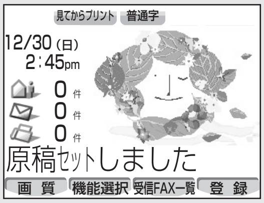
途中でやめるとき
スピーカーホンボタンを押す

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット



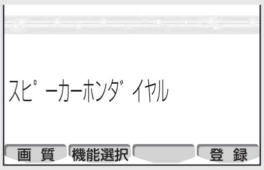
●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 画 質 ○ **を押して画質を選ぶ**
（P.4-5）



●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 スピーカーホン ○ **を押す**



4 「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする



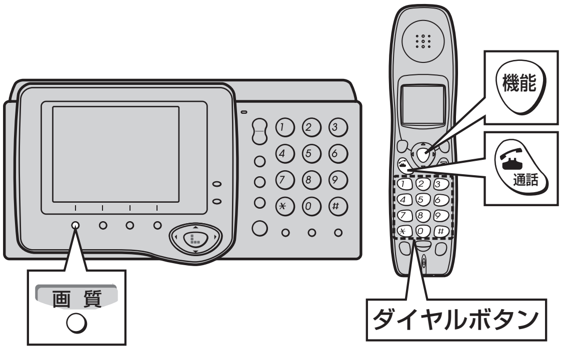
●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

5 電話がつながったら
FAXスタート **を押す**

●送信が始まります。
●送信中、途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。P.10-6）
●ファクス送信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえ、自動的に回線が切れます。

親機に原稿をセットして、子機の操作で送ることもできます。

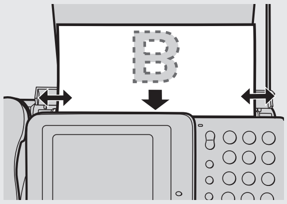




子機の操作でファクスを送る

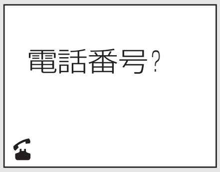
途中でやめるとき
切ボタンを押す

1 親機
原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセットしたあと、画質を押して画質を選ぶ（P.4-3、4-5）



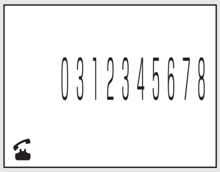
●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 子機
通話を押す



●通話ボタンが点灯します。

3 子機
「ツー」という音が聞こえたら
ダイヤルする

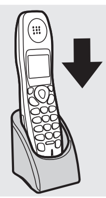


●まちがい電話や誤送信を防ぐために、「ツー」という音を確かめたあと、正しくダイヤルしてください。

4 子機
相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて
機能を押す

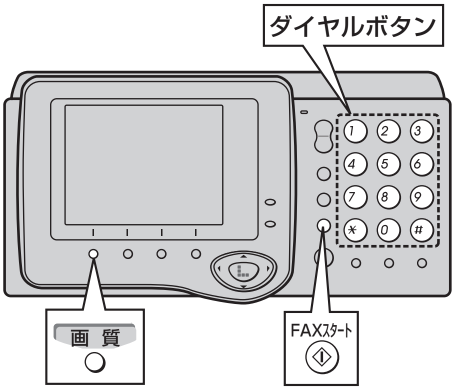
●相手の方とお話ししないでファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信　P.5-3）
※回線の状態でおまかせ送信ができないことがあります。このときは「ピー」という音が聞こえたら機能ボタンを押してください。
●機能ボタンを押すと親機がファクスを送り始めます。

5 子機
充電器に戻す



海外へファクスを送る

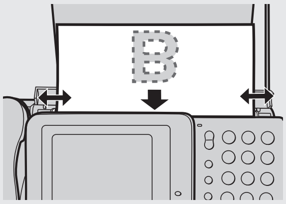
時差など考えて上手にご利用ください。



海外へファクスを送る

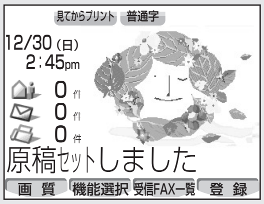
（例）アメリカ（1-212-123-4567）へ送る場合

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット



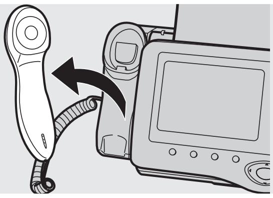
●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 画 質 **を押して画質を選ぶ**
（P.4-5）



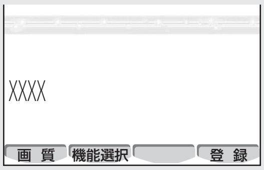
●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 受話器を取る



●受話器を置いたままダイヤルするときはスピーカーホンボタンを押します。

4 電話会社の識別番号をダイヤルする



●「マイライン」「マイラインプラス」を契約されているときはダイヤルする必要ありません。

5 010をダイヤルする



途中でやめるとき

受話器を戻す
●スピーカーホンボタンを押してダイヤルしたときはスピーカーホンボタンを押します。

次ページへ→

→つづき

6 国番号を入れる

（例）アメリカ
1



7 市外局番を入れる

（例）2 1 2



- 最初にくる「0」は必要ありません。

8 ファクス番号をダイヤルする

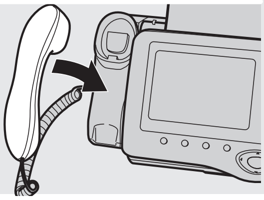
（例）1 2 3 — 4 5 6 7



9 電話がつながったら
FAXスタート を押す

- 送信が始まります。
- 送信を途中でやめるときは停止ボタンを押します。（原稿がつまった状態になります。P.10-6）
- 相手の方が電話に出る前にスタートボタンを押すとファクス送信ができないことがあります。

10 受話器を戻す



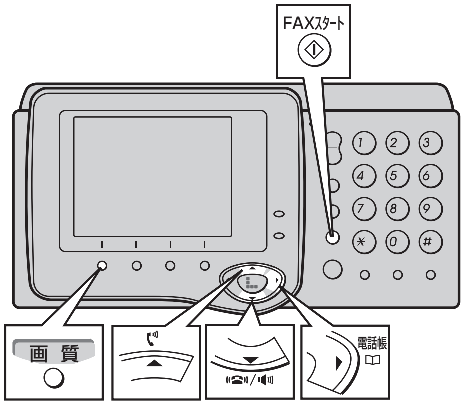
お知らせ

- 海外へファクスを送るときは、国や地域によって回線状況がよくないところがあり、正常に受信されない場合があります。
- 国際通話や通信につきましては、電話会社によって可能な国や地域などが異なりますので、詳しくは各電話会社までお問い合わせください。

電話帳や再ダイヤルでファクスを送る

電話帳にファクス番号を登録しておくと、電話帳ボタンを押したあと、マルチファンクションキーの上下で相手の方を選んでファクスを送ることができます。
親機と子機の電話帳にはそれぞれ100人分、また1人につき2つの番号を登録できます。
(P.3-12～3-14、3-19～3-20)



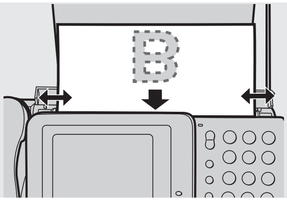


親機の電話帳でファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

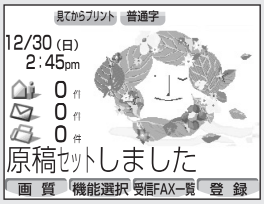
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット



- 送信する面を下にしてセットします。（一度に5枚まで）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**
（P.4-5）



- 画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 電話帳 **を押してから、** ▲ **または** ▼ **で相手の方を選ぶ**



- ディスプレイで相手の方を確かめます。
- 最初は第1番号を選んでいます。▶を押すと第2番号を選ぶことができます。

4 **電話番号を選んだあと、** FAXｽﾀｰﾄ **を押す**

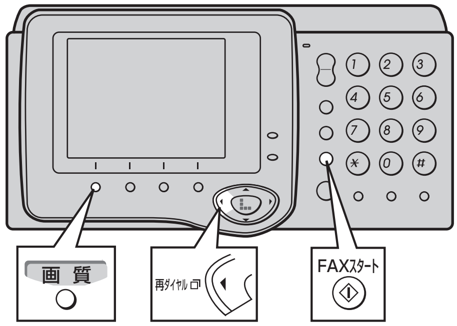
- 自動的に送信を始めます。

■ **「通信エラーがありました。」と聞こえたら**
(P.10-21)

お知らせ

- ファクス送信中にディスプレイに表示される番号は相手の方のファクシミリに登録されている番号（発信元番号）ですので、実際にダイヤルした番号と異なる場合があります。（必要に応じて相手の方に確認してください。）

相手の方がお話し中など、もう一度電話をかけ直してファクスを送るときは、再ダイヤルボタンを使って簡単にファクスを送ることができます。

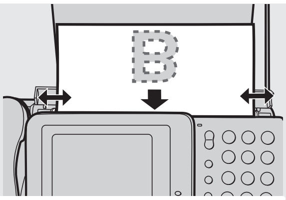


親機の再ダイヤルでファクスを送る

受話器を置いたまま操作します。

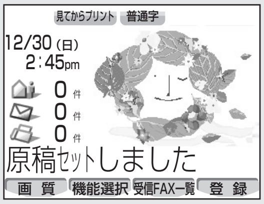
途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ
原稿をウラ向きにセット



●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

2 画質 **を押して画質を選ぶ**
（P.4-5）



●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

3 再ダイヤル **を押す**



●ディスプレイで相手の方の名前（番号）を確認します。

4 FAXスタート **を押す**

●自動的に送信を始めます。

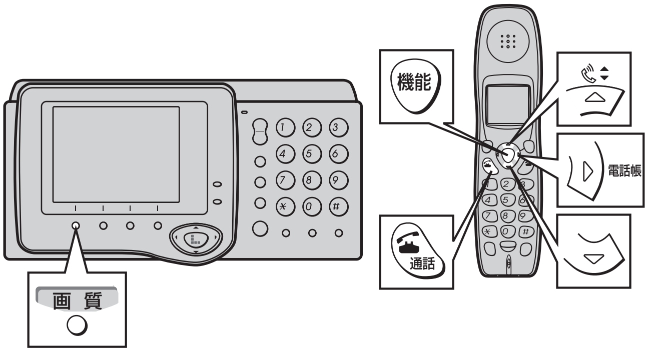
■ 受話器を取って再ダイヤルするときは

① 受話器を取る
② 「ツー」という音を確かめたあと、再ダイヤルボタンを押す
③ 相手の方が受信操作したときの「ピー」という音が聞こえたら（または、相手の方とつながったら）FAXスタートボタンを押す
④ 受話器を戻す

■ 親機の再ダイヤルの記憶を消去するときは

受話器を置いたまま操作します
① 再ダイヤルボタンを押す
② キャッチ/消去 回線断 を押す
③ 「ピー」と鳴り再ダイヤルの記憶が消去される

親機にセットした原稿を、子機の電話帳や再ダイヤルを使ってファクスを送信できます。



子機の電話帳でファクスを送る

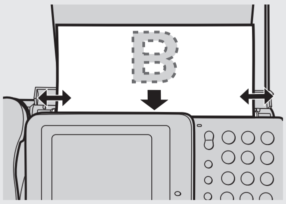
1 親 機

原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ、

原稿をウラ向きにセットしたあと、

画 質 **を押して画質を選ぶ**

（P.4-5）



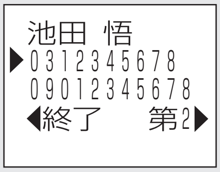
●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

2 子 機

または で

相手の方を選ぶ



3 子 機

電話番号を選んだあと、

通話 **を押す**



●子機を置いたままでファクスを送るときはスピーカーホンボタンを押します。
●最初は第 1 番号を選んでいます。
▶ で第 2 番号を選ぶことができます。

4 子 機

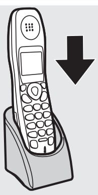
相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

機能 **を押す**

●送信が始まります。
●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 P.5-3）
※回線の状態でおまかせ送信が働かないことがあります。そのときは「ピー」という音が聞こえたら、もう一回機能ボタンを押してください。

5 子 機

充電器に戻す

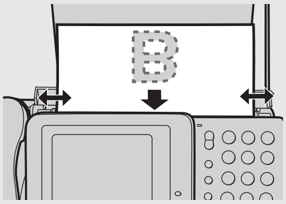


子機の再ダイヤルでファクスを送る

1 親機

原稿挿入口カバーを開けて原稿ガイドを合わせ、**原稿をウラ向きにセットしたあと、**

画質 **を押して画質を選ぶ**（P.4-5）



●送信する面を下にしてセットします。（一度に 5 枚まで）

●画質を選ばなかったときは自動的に「小さな字」で送信します。

2 子機

再ダイヤル **を押す**

〈再ダイヤル01〉
0312345678
00:01

3 子機

または **で相手の方を選んだあと、**

通話 **を押す**

0312345678

●子機を置いたままでファクスを送るときはスピーカーホンボタンを押します。

4 子機

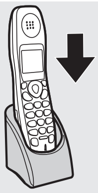
相手の方が出たらファクスを送ることを伝えて

機能 **を押す**

●相手の方とお話ししないで、ファクスを送りたいときは、電話がつながったら機能ボタンを押します。
●相手の方が受信操作をすると自動的にファクス送信に切り替わります。（おまかせ送信 P.5-3）

5 子機

充電器に戻す



■ 子機の再ダイヤルの記憶を 1 件ずつ消去するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① （再ダイヤル）ボタンを押す

② ▲ または ▼ で消去したい再ダイヤルの記憶を選んだあと、▶ を押す

③ ▲ または ▼ で「消去」を選んだあと、▶ を押す

④ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴ったあと、選んだ再ダイヤルの記憶を消去します。）

■ 子機の再ダイヤルの記憶をすべて消去するときは

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

① 機能ボタンを押す

② ▲ または ▼ で「再ダイヤル消去」を選んだあと、▶ を押す

③ 機能ボタンを押す（「ピー」と鳴ったあと、すべての再ダイヤルの記憶を消去します。）

お知らせ

● 親機や他の子機でかけた電話番号を子機で再ダイヤルすることはできません。
● 子機で再ダイヤルできるのは、32ケタまでです。

ファクスの受けかた

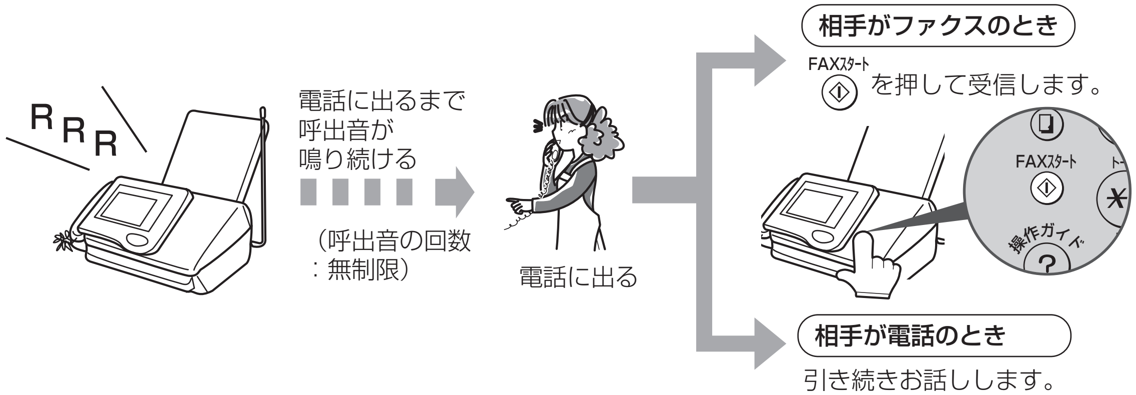
ファクスの受けかたは、「在宅モード」と「留守モード」の 2 つの種類があります。

在宅モード（家にいるとき）

が消灯している状態です。

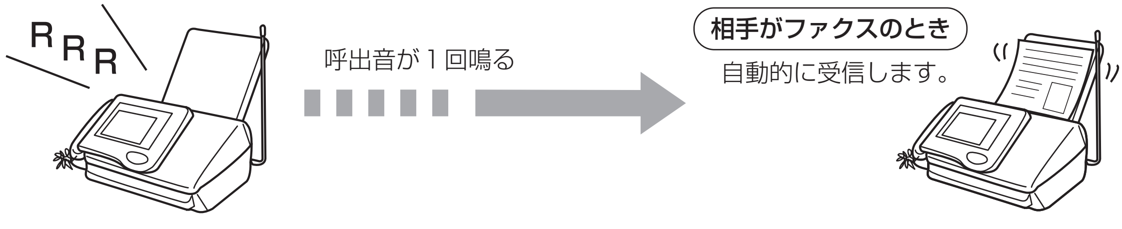
■在宅モード時の操作（P.5-14）

●ご購入時、呼出音の回数は「無制限」になっています。



一定の呼出音が鳴った（1～25回）あと、ファクス受信に切り替えることもできます。（P.5-16）

●ファクス専用としてお使いになるとき

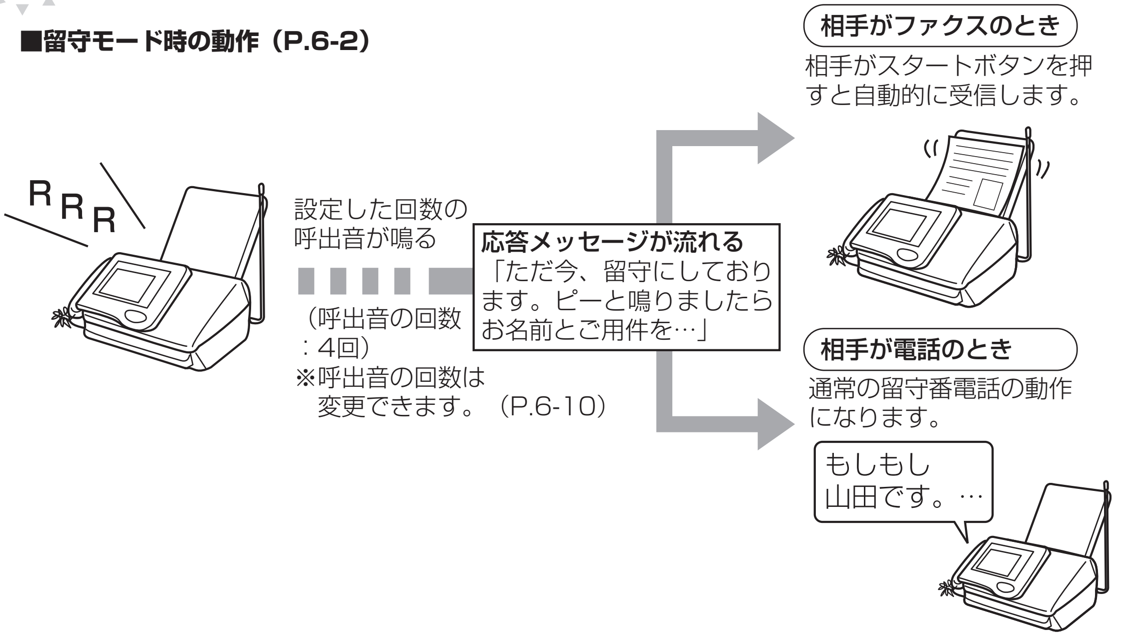


ファクス専用で使われるときは、呼出音の回数を 1 回に設定します。（P.5-17～5-18）
この設定をされるとすぐにファクス受信になりますので、相手の方とお話しできません。

留守モード（留守にするとき）

留守 が点灯している状態です。

■留守モード時の動作（P.6-2）



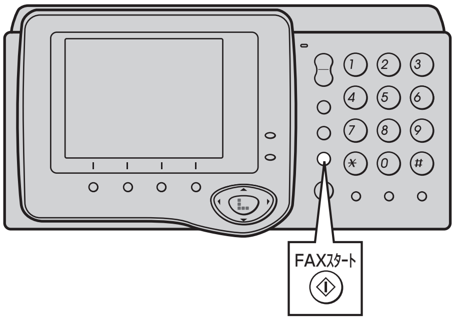
送られてきた原稿は、プリントするとき、縦方向に約93%に縮小します。

ファクスを受信するときに、受信日付や相手の方の電話番号をプリントするため、縦方向に約93%に縮小されます。縮小しないでプリントしたいときは、P.5-27の「**受信縮小率**」の設定を「等倍」にします。
※但し、「等倍」に設定をされても相手の方の機械や回線、こちら側の機械や記録紙の状態によって、厳密に１対１にならない場合があります。

ファクスを受ける

相手の方とお話ししたあと、ファクスに切り替えます。



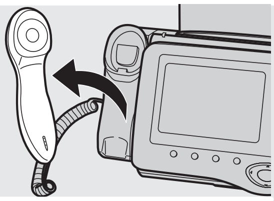


操作ガイド ? を押すとファクス送信の案内が表示されます。

電話に出てからファクスを受ける（在宅モード時）

原稿をセットしていない状態で操作します。

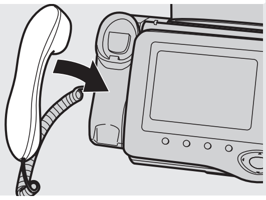
1 呼出音が鳴ったら **受話器を取る**



2 ファクスに切り替えること を相手の方に伝えて FAXスタート **を押す**

- 受信が始まります。
- 受話器を取るだけで自動的にファクスに切り替わることもあります。（おまかせ受信）

3 **受話器を戻す**



- ファクス受信が終わると終了音（鳥の声）が聞こえます。

■ おまかせ受信について

電話を受けたとき「ポー・ポー…」という音が聞こえると、「ファクスを受信します。【受話器を戻してください。】」とメッセージが流れて自動的にファクスを受けます。

※【　】内のメッセージは受話器を取っているときのみ流れます。

（「おまかせ受信」を解除するには　P.5-26）

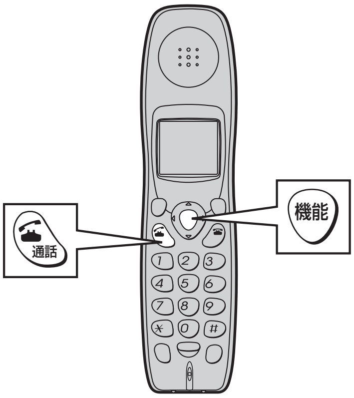
※回線の状態でおまかせ受信が働かないことがあります。そのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえたらFAXスタートボタン（子機使用中のときは機能ボタン）を押してください。

■ 呼出音が一定の回数（1～25回）鳴ったあと、ファクス受信に切り替えることもできます。（P.5-16～5-18）

在宅モード時のコール回数を設定すると、設定したコール回数が鳴ったあと、ファクス受信に切り替わります。ただし、在宅モードでファクス受信されることが多いときや、すぐに電話に出ないでファクスを受けたい場合は、「在宅モード時のコール回数」を6回以下に設定してください。

7回以上に設定されると相手の方が自動送信をされたときなどは、ファクスに切り替わりません。

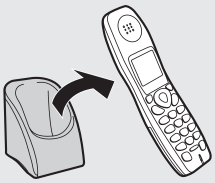




子機の操作でファクスを受ける

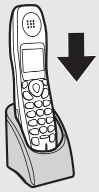
親機に原稿をセットしていない状態で操作します。

1 呼出音が鳴ったら、
充電器から取る



- 充電器に置いていないときや、クイック通話の設定を「解除」にしているときは通話ボタンを押します。
- 通話ボタンが点灯します。

2 相手の方にファクスに切り替えることを伝えて
（機能）**を押して、充電器に戻す**



- 親機に原稿をセットされているときに機能ボタンを押すと送信になります。

お知らせ

- キャッチホンサービスをご利用のときは、ファクス通信中に回線からの信号で通信ができなかったり、画像に線が入ったりすることがあります。
- コピー中や受信メモリーをプリントしているときに電話がかかってきたときは、親機のスピーカーホンボタンを押してもスピーカーホン通話できません。子機または受話器を取ってお話しください。また、ファクスを受けることもできません。

呼出音の回数を設定（P.5-17〜5-18）すると、一定の呼出音が鳴ったあと、自動的にファクス受信に切り替えることができます。

一定の呼出音が鳴ったあと、ファクス受信する（在宅モード）

相手側

電話をかけている

（電話をかけたあと、ファクスを送ろうとしている）



プルル(1回目)

・

・

プルル(6回目)

固定応答メッセージが流れる

「ただ今近くにおりません。ファクスを送られる方はスタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが後程おかけ直しください。」



応答メッセージの内容は変わります。（P.5-17）

相手の方がスタートボタンを押す



こちら側　（呼出音の回数を6回に設定しているとき）

呼出音が鳴る



呼出音が鳴っている間に受話器を取ると通話できます。
通話したあと、ファクスを受信するには、FAXｽﾀｰﾄ を押してから受話器を戻してください。

プルル(1回目)

・

・

プルル(6回目)

6回鳴っても電話に出ないとファクスから自動的に

固定応答メッセージが流れる



応答メッセージが流れている間に受話器を取ると通話できます。

ファクスを受信します



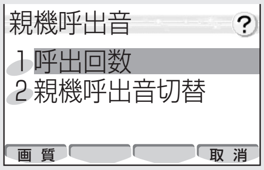
お知らせ

- 相手の方が自動送信や、固定メッセージが流れる前にスタートボタンを押されたときはファクスに切り替わりません。
- 在宅モードでファクス受信されることが多いときや、すぐに電話に出ないでファクスを受けたいときは、「在宅モード時コール回数」を6回以下に設定してください。（P.5-17〜5-18）
- 固定メッセージが流れている間に停電時端子に接続した電話機の受話器を取っても通話できません。
- 留守モードでお使いのときは動作が異なります。（P.6-2〜6-3）

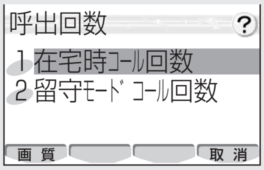
呼出音の回数を変える（在宅モード時）

1 登録 を押す

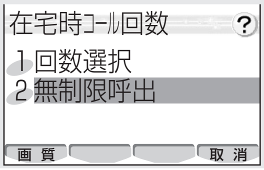
2 または で「親機呼出音」を選び、 を押す



3 「呼出回数」を選び、 を押す

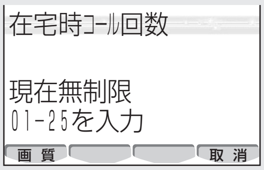


4 「在宅時コール回数」を選び、 を押す



●はじめは「無制限呼出」になっています。

5 または で「回数選択」を選び、 を押す



次ページへ→

■ 固定応答メッセージの内容は変わります。

受信できないとき（インクリボン、受信メモリーがないときなど）	「ただ今近くにおりません。恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」

→つづき

6 呼出音の回数を入力する（01～25回）

（例）０６回 0 6

7 L/決定 を押す

8 停止 を押す

■ **呼出音のメロディを変えるときは（P.1-28）**

お知らせ

- 親機の停電時端子に他の電話機を接続されたとき、固定応答メッセージが流れている間に接続した電話機の受話器を取っても通話できません。（応答メッセージも止まりません。）

受信した内容を画面で見る（見てからプリント機能）

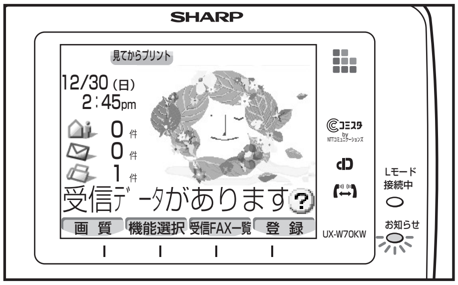
ファクスをメモリー受信にすると、受信内容を画面に表示して確認することができます。

見てからプリント機能を使うときは、あらかじめ次の設定をしてください。（P.5-26～5-27）
- 「メモリー受信」→「する」
- 「受信プリント」→「見てからプリント」

メモリー受信とは

送られてきたファクスを記録紙にプリントせずに、いったんファクシミリのメモリーに記録することです。

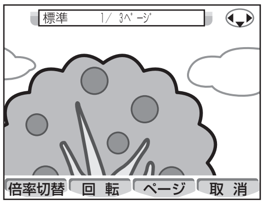
1 ファクスを受信したことが表示され、お知らせランプが点灯します



2 受信FAX一覧 を押し、「FAX受信リスト」を表示する



3 または で表示したいファクスを選び、決定 を押す



：たて方向にスクロールできることを示しています。

：よこ方向にスクロールできることを示しています。

取消

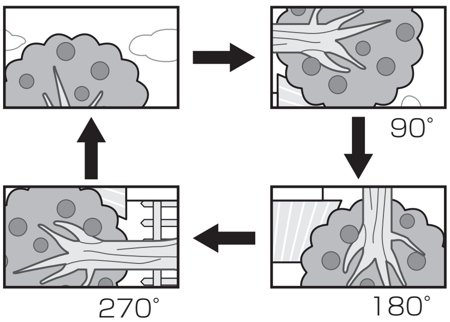
：1つ前の画面にもどします。

ページ（P.5-23）

：次のページを表示します。

回転（P.5-23）

：押すたびに表示を90°ずつ右回転させます。



倍率切替（P.5-23）

：押すたびに拡大／縮小表示されます。

印刷（P.5-24）

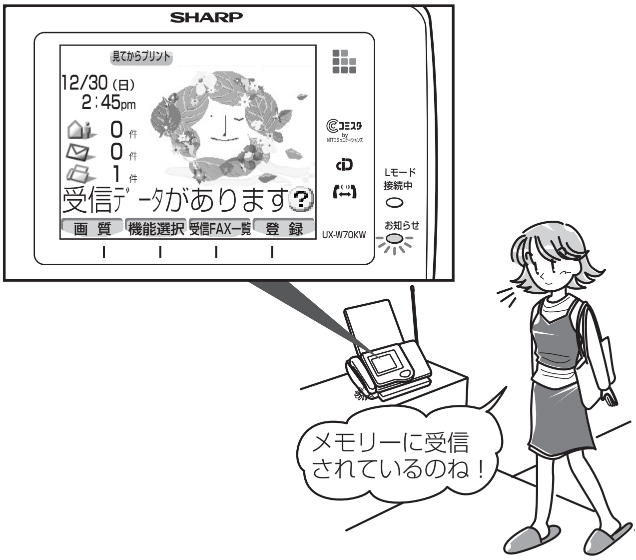
：画面にファクスが表示されているときに、コピー/印刷 を押します。

データの消去（P.5-25）

：「FAX受信リスト」で、消去したいファクスを選び、キャッチ/消去（L回線断）を２回押します。

■ **親機のディスプレイに「受信データがあります」と表示しているときは**

送られてきたファクスがメモリーに残っています。記録紙にプリントするか、または受信データを消すと表示が消えます。（P.5-24～5-25）



■ **メモリー受信枚数について**

A4サイズの当社標準原稿（英字で文字数が700字程度の原稿）を「普通字」で一度に約22枚までメモリー受信できます。（受信メモリーと録音用のメモリーは同じメモリーを使用しています。録音などが残っていると、メモリー受信できない場合があります。）

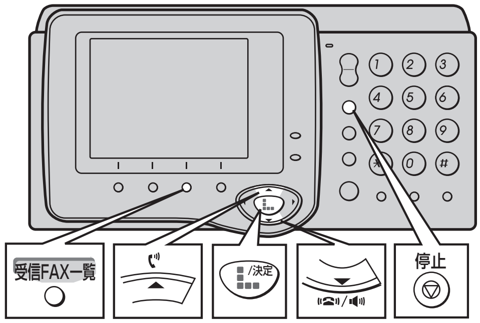
■ **メモリーがいっぱいになったときは**
（「メモリー受信」の設定が「自動」のとき）

受信の途中でメモリーがいっぱいになると、受信が止まり通信エラーになり、メモリーを使わない受信モードに自動的に切り替わります。再送されたときなどは、メモリーに記録せずに記録紙にプリントします。（切り替わったあとは、メモリー受信したデータを消去して再度「メモリー受信」の設定を「自動」または「する」に設定するまで、メモリー受信しません。）

お知らせ

● 「メモリー受信」の設定（P.5-26）を「しない」にすると、ファクスを受信したときに受信した内容によっては、記録紙の途中で分断されてプリントすることがあります。
また、通信速度がメモリー受信のときよりも遅くなることがあります。

ファクスをメモリー受信すると受信内容を画面に表示して確認することができます。

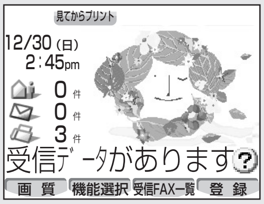


操作ガイド で受信データの確認方法を見ることができます。

メモリー受信したデータを表示する（見てからプリント機能）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 「受信データがあります」と表示される

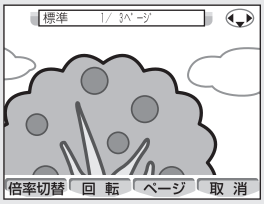


2 受信FAX一覧 を押す



- ●FAX受信リストが表示されます。
- ● 8 件目以降は ▲ または ▼ でカーソルを移動して表示させせます。

3 ▲ または ▼ で表示したい受信データを選び、/決定 を押す

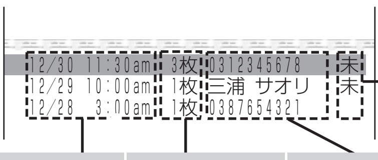


- ●メモリー受信したデータを表示します。
- ●表示している受信データをスクロール／拡大／縮小／回転／ページ切替／プリント／消去することができます。（P.5-22〜5-23）

4 停止 を押す

- ●待機画面に戻ります。

■ FAX受信リストについて



未確認の受信データを「未」と表示します。

受信した日付と時刻

受信した枚数

- ・ナンバーディスプレイ利用時には相手の方の番号を表示します。
- ・電話帳に登録しているときは名前を表示します。

■ 「受信データがありません」と表示したときは

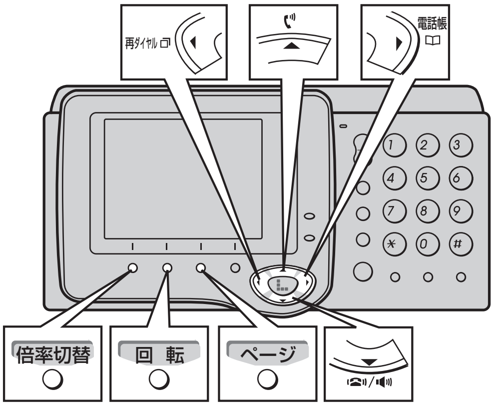
メモリー受信されているデータはありません。

お知らせ

- ● 「メモリー受信」の設定（P.5-26）を「しない」にしている（待機画面に「記録紙受信」と表示している）ときは、この機能を使うことはできません。
- ● A4サイズの長さを超える受信データは、A4サイズまでしか表示できません。

受信した内容を画面で見る（見てからプリント機能）

メモリー受信した内容をディスプレイに表示することができます。（P.5-21）
また、ハンドコピーで読み取ったデータを表示することができます。（P.4-17）
表示しているデータを上下左右に動かしたり（スクロール）、拡大、縮小したりすることができます。



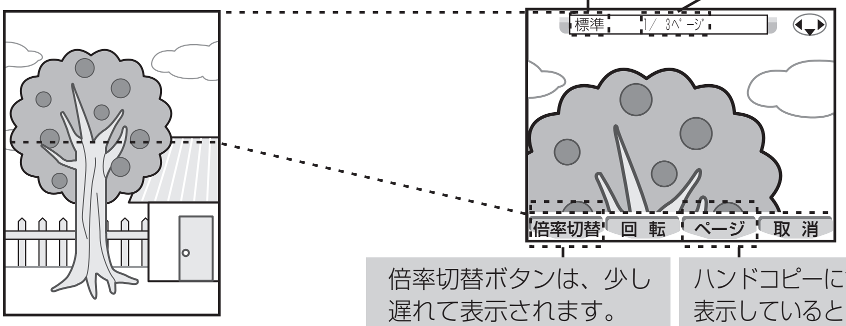
表示したデータを操作する

（例）メモリー受信したり、ハンドコピーで読み取ったデータは、下記のように表示されます。
（受信内容が、複数ページあるときは、１ページ目を表示します。）

メモリー受信またはハンドコピーに記憶しているデータ

現在表示している倍率

現在表示しているページ／総ページ

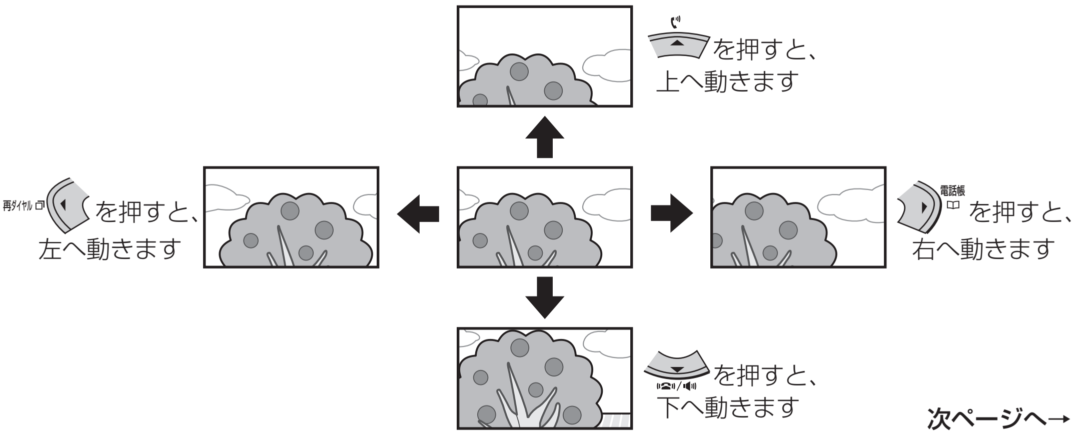


倍率切替ボタンは、少し遅れて表示されます。

ハンドコピーに記録しているデータを表示しているときは表示しません。

■表示しているデータを上下左右に動かす（スクロールする）

●データの端まで表示すると、それ以上同じ方向へは動かなくなります。



次ページへ→

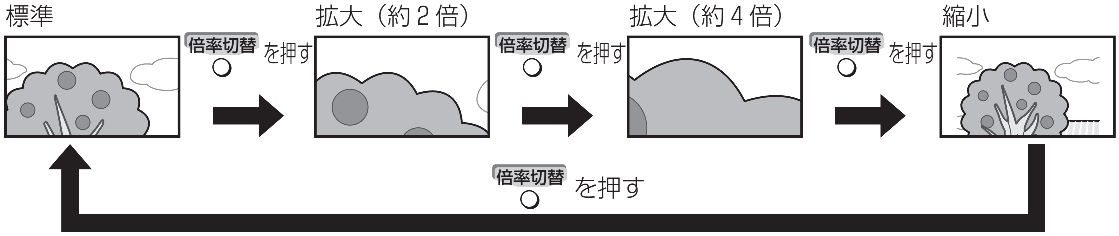
お知らせ

- 写真原稿や文字の多い原稿を受信したときは、表示に時間がかかることがあります。
- 倍率切替ボタンが表示される前に回転やスクロールすると、少し遅れて表示することがあります。

→つづき

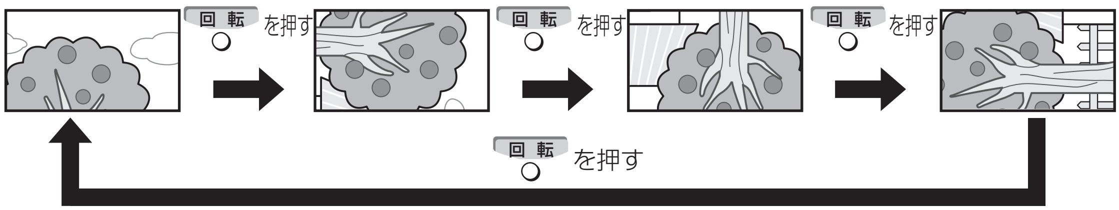
■表示しているデータを拡大／縮小する

倍率切替ボタンを押すたびに拡大／縮小表示されます。



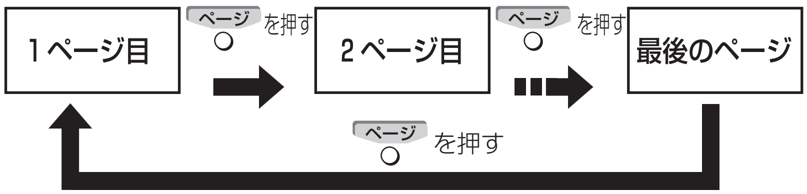
■表示しているデータを回転する

回転ボタンを押すたびに右回り（時計回りに）90度ずつ回転します。



■ページを変える

複数ページをメモリー受信しているデータのときは、ページボタンを押すたびに次のページを表示します。
※ハンドコピーで読みとったページを表示しているときに、ページを変えることはできません。



●最後のページを表示しているときにページボタンを押すと１ページ目に戻ります。

■表示しているページをプリントする

表示中に コピー/印刷 を押す

表示中のページをプリントします。（プリントしたあとは、待機画面に戻ります。）
※複数ページのときは、プリントしたページのみメモリーから削除されます。

■表示しているページを消去する

表示中に キャッチ/消去 回線断 を２回押す

※複数ページのときは、表示していたページのみメモリーから削除されます。

■ メモリー受信を１件ずつ消去するときは
（P.5-25）

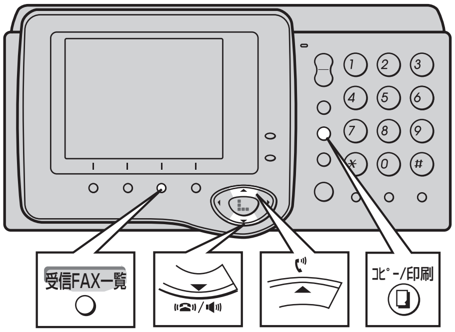
お知らせ

- 拡大／縮小表示中にコピーボタンを押しても等倍でプリントします。
- A4サイズの長さを越えるデータは、A4サイズまでしか表示できません。

メモリー受信したファクスをプリントする

メモリー受信した内容をプリントするときの操作です。「受信プリント」の設定が「すべてプリント」のときと「見てからプリント」のときで操作が異なります。（P.5-26～5-27）

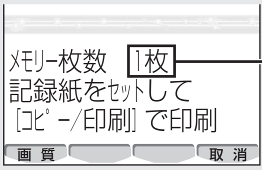
■ **プリント中にインクリボンがなくなったときは**
受信した内容はメモリーに残っていますので、プリント中の記録紙を取り出して（P.10-7）から、インクリボンを交換（P.10-8～10-9）してください。



「すべてプリント」に設定しているとき

次の手順でプリントします

1 コピー/印刷 **を押す**



ディスプレイにメモリー受信している枚数が表示されます。

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

2 記録紙やインクリボンをセットして コピー/印刷 **を押す**

●すべての受信データをプリントし始めます。プリントした内容は、メモリーから消えます。

「見てからプリント」に設定しているとき（1件ごとにプリントする）

1 受信FAX一覧 **を押す**

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

●FAX受信リストが表示されます。（P.5-21）
●８件目以降は ▲ または ▼ を押して表示させます。

2 ▲ **または** ▼ **で プリントしたい受信データを選んだあと、** コピー/印刷 **を押す**

●プリントを開始します。プリントした受信データはメモリーから消えます。

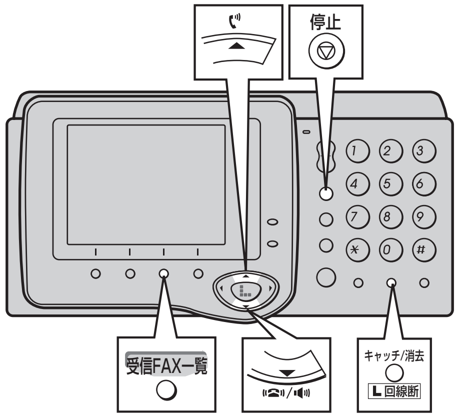
■ **１ページずつプリントするときは（「見てからプリント」に設定時）**

① 受信FAX一覧ボタンを押す（FAX受信リストが表示されます。）
② ▲ または ▼ でプリントしたい受信データを選んだあと、 決定 を押す（選んだ受信データの１ページ目を表示します。）
③ ページボタンを押してプリントしたいページのみを表示させる
④ コピー/印刷ボタンを押す（表示していたページをプリントします。プリントしたページは、メモリーから消えます。）

メモリー受信したファクスを消去する

メモリー受信した内容を記録紙にプリントしないで、FAX受信リストから選んで消去することができます。

この機能を使うときは、あらかじめ「受信プリント」の設定（P.5-27）を「見てからプリント」にしておきます。



メモリー受信したデータを1件消去する（「見てからプリント」に設定時）

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1 受信FAX一覧 **を押す**

12/30 11:30am 3枚 0312345678 未
12/29 10:00am 1枚 三浦 サオリ 未
12/28 3:00am 1枚 0387654321
取 消

- FAX受信リストが表示されます。（P.5-21）
- 8件目以降は ▲ または ▼ を押して表示させます。

2 ▲ **または** ▼ **で消去したい受信データを選んだあと、** キャッチ/消去 L 回線断 **を押す**

もう一度押すと
選択中の受信FAXデータ
を消去します
取 消

3 もう一度 キャッチ/消去 L 回線断 **を押す**

消去しました
取 消

- 選んだ受信データが消去されます。

4 停止 **を押す**

- 他に受信データがないときは待機画面に戻りますのでこの操作をする必要はありません。

■ 1ページずつ消去するときは

① 受信FAX一覧ボタンを押す（FAX受信リストが表示されます。）

② ▲ または ▼ で消去したい受信データを選んだあと、 決定 を押す（選んだ受信データの1ページ目を表示します。）

③ ページボタンを押して消去したいページを表示させる

④ キャッチ/消去 L 回線断 を2回押す（表示していたページを消去します。）

⑤ 停止ボタンを押す（他に受信データがないときは、自動的に待機画面に戻ります。）

コピーやファクスをもっと便利に使う

コピーやファクスをもっと便利に使うために、いろいろな登録や設定ができます。

親機で設定します

途中でやめるとき	1つ前に戻るとき
停止ボタンを押す	取消ボタンを押す

工場出荷時は ■ に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
おまかせ受信 相手の方が自動送信でファクスを送られてきたとき、受話器（子機）を取ると自動的にファクス受信に切り替えます。（増設電話機ではこの機能は働きません。） ・**あり** 電話に出たとき、「ポー・ポー・ポー…」というファクスの自動送信音が、聞こえると自動的にファクス受信します。 ・**なし** 「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえても自動的にファクス受信に切り替わりません。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ 「**おまかせ受信**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1：あり（工場出荷時） 2：なし のどちらかを選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
終了音 コピーやファクスの送信・受信後に鳴る終了音の種類を選びます。 ・**鳥の声** 「鳥の声」でお知らせします。 ・**アラーム音** 「ピー音」でお知らせします。 ・**なし** 終了音を鳴らしません。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**終了音**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1：鳥の声（工場出荷時） 2：アラーム音 3：なし から選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
メモリー受信 いったんメモリーで受信します。記録紙やインクリボンがなくなったときは、受信した内容はメモリーに記録しています。 ・**する** メモリーで受信します。 ・**しない** 直接記録紙にプリントします。記録紙やインクリボンがなくなったときはファクス受信できません。 ・**自動** メモリー受信中にメモリーがいっぱいになると次に受信するときに、メモリー受信しないでファクスを受信します。	登録 ▶ または で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で「**メモリー受信**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ または で 1：する 2：しない 3：自動（工場出荷時） から選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止

ファクス

コピーやファクスをもっと便利に使う

親機で設定します

途中でやめるとき	1つ前に戻るとき
停止ボタンを押す	取消ボタンを押す

工場出荷時は［網掛け］に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
受信プリント メモリー受信した内容を、すぐにプリントしてデータを消去する、またはプリントしないでメモリーに残すかどうかを設定できます。 ※この設定は、「メモリー受信」の設定を「しない」にしているときは、はたらきません。 ・**すべてプリント** メモリーで受信したあと、インクリボン、記録紙がセットされているときは、自動的にプリントして、プリントしたデータは消去します。また、記録紙やインクリボンがなくなったときは、メモリーに記録しています。 ・**見てからプリント** メモリーで受信データを保存したままになり、受信内容を画面で確認できます。自動的にプリントしません。	登録 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**受信プリント**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：すべてプリント 2：見てからプリント のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
受信縮小率 ファクスを受信したときに、自動的に縦方向を約93%に縮小してプリントします。 ・**縮小** 自動的に縦方向を約93%に縮小してプリントします。 ・**等倍** 縦方向に縮小せずに受信します。（相手側の発信元名、電話番号などが記入されるとA4サイズを超えるため、2枚に分かれてプリントされることがあります）	登録 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**受信縮小率**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：縮小 2：等倍 のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
メモリー受信条件 設定した以上のメモリーがないとメモリー受信しません。 ・**4パーセント** 4%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 ・**10パーセント** 10%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 ・**30パーセント** 30%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。 ・**50パーセント** 50%以上メモリーが残っているとメモリー受信します。	登録 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**メモリー受信条件**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：4パーセント 2：10パーセント 3：30パーセント 4：50パーセント から選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止

親機で設定します

途中でやめるとき	1つ前に戻るとき
停止ボタンを押す	取消ボタンを押す

工場出荷時は　　　に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
分割コピー A4より長い原稿をコピーした場合のプリント方法を選びます。（ハンドコピーのプリントも含みます。） ・**する** A4サイズよりも長い原稿をコピーしたときは複数枚に分けてプリントします。 ・**しない** A4サイズを超える部分はプリントしません。	登録 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**FAX／コピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**分割コピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：する 2：しない（工場出荷時） のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
キータッチ音 親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）を鳴らします。 ・**あり** 親機のボタンを押したときに「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴ります。 ・**なし** 「ピッ」という音（キータッチトーン）が鳴りません。	登録 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**キータッチ音**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：あり（工場出荷時） 2：なし のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
ハンドコピープリント 記録紙やインクリボンをセットしているときは、ハンドコピーを本体（親機）に取り付けたときに、新しく読み取ったデータを自動的にプリントすることができます。 ・**すべてプリント** 記録紙とインクリボンがセットされていると、ハンドコピーを本体（親機）に取り付けたときに、新しく読み取ったデータを自動的にプリントします。 ・**見てからプリント** ハンドコピーで読み取ったデータはP.4-17の操作でプリントします。	機能選択 ▶ ▲または▼で「**ハンドコピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**ハンドコピープリント**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：すべてプリント（工場出荷時） 2：見てからプリント のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止

親機で設定します

途中でやめるとき	1つ前に戻るとき
停止ボタンを押す	取消ボタンを押す

工場出荷時は ■ に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
ハンドコピー読み取り幅 ハンドコピーを使って原稿を読み取るときの読み取り幅を選びます。 ・**A4** 基準からA4幅で読み取ります。 ・**B4** 基準からB4幅で読み取ります。	機能選択 ▶ ▲または▼で「**ハンドコピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**ハンドコピー設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**読み取り幅設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：A4（工場出荷時） 2：B4 のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
ハンドコピー倍率 ハンドコピーを使って拡大／縮小して読み取るときに選びます。 ・**0.8倍** 原稿を0.8倍に縮小して読み取ります。 ・**1.0倍** 原稿を等倍で読み取ります。 ・**1.4倍** 原稿を1.4倍に拡大して読み取ります。	機能選択 ▶ ▲または▼で「**ハンドコピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**ハンドコピー設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**倍率設定**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：0.8倍 2：1.0倍（工場出荷時） 3：1.4倍 から選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止
ハンドコピー詰め込みプリント A4よりも短い原稿をコピーすると２枚目以後の原稿を詰め込んでプリントします。 ・**する** A4サイズより短い原稿をコピーすると、２枚目以後の原稿を詰め込んでプリントします。 ・**しない** A4サイズより短い原稿でも、記録紙１枚にプリントします。	機能選択 ▶ ▲または▼で「**ハンドコピー**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で「**詰込プリント**」を選ぶ ▶ /決定 ▶ ▲または▼で 1：する 2：しない（工場出荷時） のどちらかを選ぶ ▶ /決定 ▶ 停止

メモ

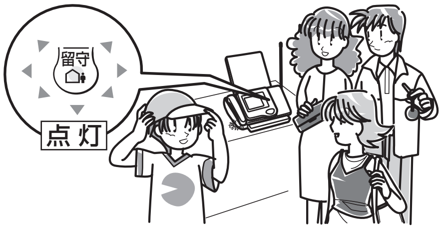
6章

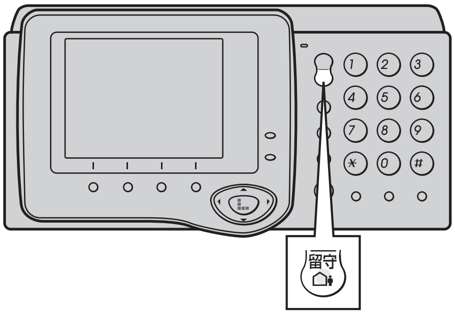
留守番電話



留守に設定する

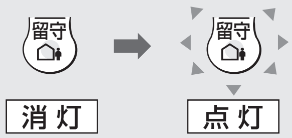
外出中に相手の方の伝言を録音したり、また、ファクスを自動受信します。
相手の方の用件は、１件につき最大約３分間録音できます。すべての録音を合わせて、最大約12分間、30件までです。

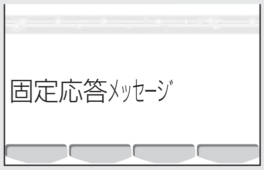




留守に設定する

1 （留守）を押して点灯させる





●留守ボタンが点灯し、固定応答メッセージが流れます。

固定応答メッセージ
「ただ今、留守にしております。ピーッと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。」

●録音できる残り時間が５分以下のときは、「残り約○分、録音できます。」と流れます。

■ **自分で録音した応答メッセージ（オリジナルメッセージ）を選ぶときは**

① あらかじめ応答メッセージを録音する（P.6-8）
② 留守ボタンを押して点灯させる
③ 応答メッセージが流れている間に （#）を押す

■ **オリジナルメッセージを選んだときは**

いったん留守設定したときに、オリジナルメッセージを選んでおくと、次に留守設定したときも、オリジナルメッセージになります。

■ **オリジナルメッセージから固定メッセージにするときは**

① 留守ボタンを押して点灯させる
② 応答メッセージが流れている間に （＊）を押す

■ **固定メッセージが流れたあと「ピー」と鳴るまでの時間を変えるときは**

はじめは２秒に設定されています。１秒または４秒に変更することができます。（P.11-6）

お知らせ

- オリジナルメッセージを選んだときでも、ファクス受信できなくなったときや録音ができなくなったときは、自動的に固定メッセージに切り替わります。
- 録音時間が残り１分以下、または残りの件数が３件以下になっているときは、留守設定したときに「メモリーがもうすぐいっぱいです。」と音声でお知らせします。このときは不要な録音を消してください。（P.6-7）
- ファクスのメモリー受信データがあると、録音できる時間が少なくなります。
- 留守設定中にファクスをメモリー受信すると、ディスプレイに「受信データがあります」と表示されます。（P.5-20）

固定応答メッセージの内容は変わります。

ファクス受信できるが、録音できないとき	「ただ今留守にしております。ファクスを送られる方は、スタートボタンを押してください。電話の方は、恐れ入りますが、後程おかけ直しください。」
録音はできるが、ファクス受信できないとき（インクリボン、受信メモリーがないときなど）	「ただ今留守にしております。ピーと鳴りましたらお名前とご用件をお話しください。」
ファクス受信も録音もできないとき	呼出音が鳴り（25回）、「ただ今留守にしております。恐れ入りますが後程おかけ直しください。」（3回流れます。） ※ただし、リモート操作（P.7-10〜7-13）するための暗証番号が登録されていないと応答しません。

■ **相手の方が自動送信でファクスを送っているときは**

自動的にファクス受信に切り替わります。（ファクス受信可能な場合のみ）

■ **留守機能をもっと便利に使いたいときは（P.6-10）**

■ **留守モード時のコール回数を「トールセーバー」にするときは**

① 登録ボタンを押す
② ▲または▼で「親機呼出音」を選び、▶を押す
③ 「呼出回数」を選び、▶を押す
④ ▲または▼で「留守モードコール回数」を選び、▶を押す
⑤ 「トールセーバー」を選び、決定を押す
⑥ 停止ボタンを押す

■ **応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を変えるときは（留守モード時のコール回数）**

① 登録ボタンを押す
② ▲または▼で「親機呼出音」を選び、▶を押す
③ 「呼出回数」を選び、▶を押す
④ ▲または▼で「留守モードコール回数」を選び、▶を押す
⑤ ▲または▼で「回数選択」を選び、決定を押す
⑥ ダイヤルボタンでコール回数を入力する（01回〜25回）
⑦ 決定を押す
⑧ 停止ボタンを押す

着信回数とトールセーバー

留守モードでは着信回数を設定するか、「トールセーバー」という機能を選択できます（P.7-13）。
トールセーバーを選択すると、外出先から留守番電話のメッセージが入っているかどうかを確認できます。

<外出先からメッセージの有無を確認する（トールセーバーのとき）>

外出先から自宅に電話をかけて、留守番メッセージが再生されるまでの着信回数を確認します。

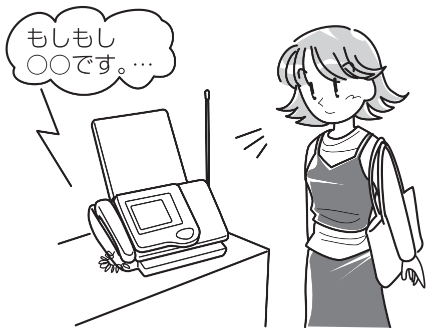
メッセージがあるとき………着信2回
メッセージがないとき………着信5回
➡ 着信音が3回鳴った時点で、メッセージが録音されていないことがわかります。3回鳴った時点で電話を切れば通話料はかかりません。2回鳴って電話がつながったときは、リモート操作（P.7-12）によって音声メッセージを確認するなど、本機を操作することができます。

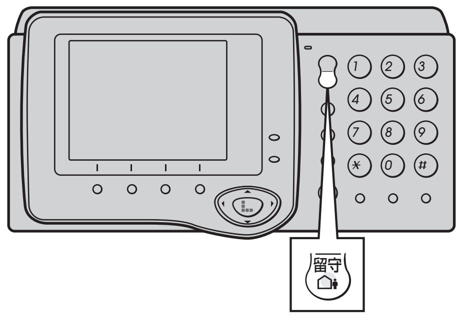
お知らせ

- 増設電話機をお使いのとき、応答メッセージが流れているときや録音が始まってから増設電話機の受話器を上げても通話できません。
- 記録紙や録音容量がないときは、ファクスを受けることや録音することができませんので、応答メッセージが自動的に切り替わります。
- 録音とメモリー受信は同じメモリーを使用しています。メモリー受信データがあると録音できる時間が少なくなります。

録音内容を聞く

帰宅したあと留守設定を解除するだけで、留守中に録音されたメッセージを聞くことができます。

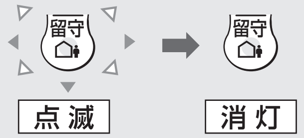




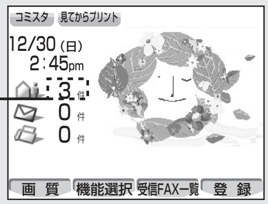
留守設定を解除して留守録を聞く

1 留守 を押す

留守設定中に録音があると点滅しています。



録音されている件数が表示されます。



留守設定 ／ 留守設定解除

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生します。留守設定以後の録音がない場合は自動再生はしません

再生を途中でやめるとき

停止ボタンを押す

- ●留守を解除すると、留守設定中にかかってきた録音内容を自動的に１回再生します。
- ●再生中はP.6-5と同じ操作で早聞き、遅聞き、次の録音にとばす、１つ前の録音に戻すことができます。
- ●録音内容を１件再生するごとに、録音された日時を音声でお知らせします。（日時スタンプ）
- ●留守設定を解除しなくても、留守録を聞くことができます。（P.6-5）

■ 留守ボタンが点滅しているときは

- ● 留守に設定中に１回点滅しているときは、新しく入った録音があります。また、メモ録音や通話録音が入ったときも点滅します。
- ● 留守を解除したあとで、２回点滅しているときは、まだ再生していない（未再生）録音（メモ録音や通話録音、在宅時の留守録）があります。
  再生ボタンを押して約３秒以上再生すると再生済みになります。全て再生済みになると消灯します。（P.6-5）
- ● まだ再生していない録音を聞くときや、録音をもう一度聞き直すときは、「録音内容を再生する」（P.6-5）の操作をします。

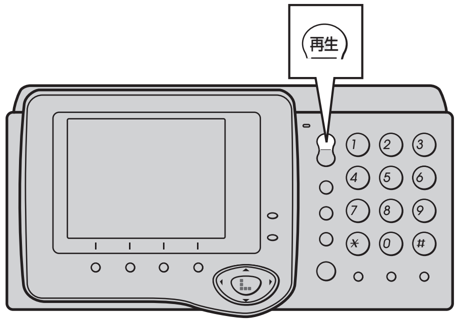
お知らせ

- ● 一度聞いた不要な用件は消去してください。消去しない限り、新しく録音される用件は、前の用件の最後に続けて録音されます。
- ● 親機の時刻設定がまちがっていると、まちがった時刻が記録されます。

録音内容を再生する

親機に録音されている内容（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を再生するときの操作です。
一番古い録音から順番に再生します。





親機で録音内容を再生する

1 （再生）を押す



再生を途中でやめるとき

停止ボタンを押す

- 「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約3秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定 ▼（4件目の前）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は1件目から再生）

留守設定していないとき

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は1件目から再生）

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、（#）を押す

早聞きや遅聞きするときは

再生中に、（再生）を押す（速くなる）
↓
もう一度、（再生）を押す（遅くなる）
↓
もう一度、（再生）を押す（もとに戻る）

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、（＊）を押す

1つ前の録音に戻すときは

再生中に、（＊）を2回続けて押す

今聞いている録音の1件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して（＊）を押します。（1回押すごとに1件ずつ）

3秒以上再生したあと、ボタンを2回続けて押すと ▼（5件目）

1件目	2件目	3件目	4件目	5件目	6件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに（＊）をくり返し押してディスプレイで件数を確認する

1つ前の録音に戻る

■ **再生中に電話がかかってきたら**

再生が止まります。このあと受話器を取ると、通話できます。





子機で録音内容を再生する

通話ボタンを消灯させた状態で操作します。

1 （機能） **を 2 回押す**

5：戻し
6：送り
9：早聞き

再生を途中でやめるとき

切ボタンを押す

●「留守」に設定しているときと、していないときでは再生する内容が変わります。（約 3 秒以上再生した内容は再生スミになります。）

留守設定しているとき

留守設定（4 件目の前）

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

留守設定以後の録音を再生する（留守設定以後の録音がない場合は 1 件目から再生）

留守設定していないとき

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

未再生の録音以後を再生する
（未再生の録音がない場合は 1 件目から再生）

再生中は次のような操作ができます。

次の録音にとばすときは

再生中に、（6） を押す

早聞きするときは

再生中に、（9） を押す

もとに戻すときは、もう一度、（9） を押す

今聞いている録音を聞き直すときは

再生中に、（5） を押す

1 つ前の録音に戻すときは

再生中に、（5） を 2 回続けて押す

今聞いている録音の 1 件前から再生します。
聞きたい録音まで戻すときは、更にくり返して押します。

3 秒以上再生したあと、ボタンを 2 回続けて押すと（5 件目）

1 件目	2 件目	3 件目	4 件目	5 件目	6 件目
再生スミ	未再生	未再生	再生スミ	未再生	未再生

聞きたい録音まで戻すときは、さらに （5） をくり返し押す。

1 つ前の録音に戻る

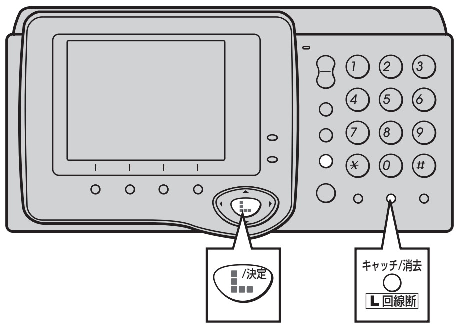
■ **再生中に電話がかかってきたら**

呼出音が聞こえ再生が止まります。このあと通話ボタンを押すと通話できます。

録音内容を消去する

一般録音（留守中に録音されたメッセージや通話録音、メモ録音）を消去します。





録音を１つだけ消す

1 消したい録音を再生中に キャッチ/消去 L回線断 **を２回押す**

1件目 消去しました

一般録音をすべて消す

受話器を置いたまま操作します。

1 キャッチ/消去 L回線断 **を押す**

一般録音消去
[L/決定] で消去

2 /決定 **を押す**

消去しました

■ **親機のメモリーの使用量を確認するときは**
（メモリー使用量表示）

① 機能選択ボタンを押す
② ▲または▼で「メモリー使用量表示」を選び、/決定を押す

機能選択
メモリー使用量　31パーセント
画質 | | | 取消

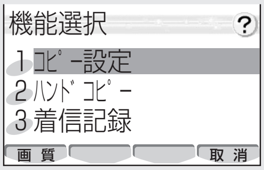
③ 停止ボタンを押すと待機画面に戻る

自分で応答メッセージを録音する

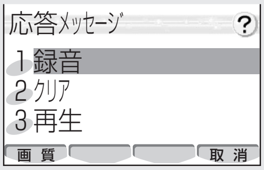
留守設定したときに流れる固定応答メッセージの代わりに、自分でメッセージを１種類録音できます。また、録音できる時間は他の録音と合わせて最大約12分です。

応答メッセージを録音する

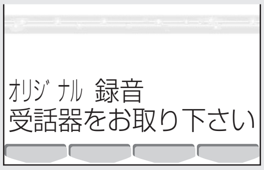
1 機能選択 ○ **を押す**



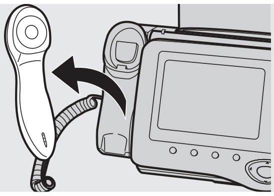
2 ▲または▼で「応答メッセージ」を選び、/決定 を押す



3「録音」を選び、/決定 を押す



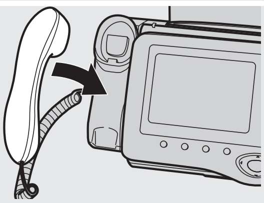
4 受話器を取る



5 /決定 を押してから、受話器で応答メッセージを話す



6 録音が終わったら 停止 **を押してから、受話器を戻す**



途中でやめるとき

停止ボタンを押す

応答メッセージの例

「はい、○○です。ただ今留守にしておりますので、ピーという音が鳴りましたら、メッセージをお話しください。ファクスを送られるときは、スタートボタンを押してください。」

●録音したメッセージを再生します。

■ **応答メッセージの内容を変えるときは**

録音した内容を消してから、もう一度録音します。

■ **応答メッセージを選ぶときは**

録音した応答メッセージで留守番電話を受けるときは留守設定したときに選ぶ必要があります。
（「自分で録音した応答メッセージを選ぶときは」P.6-2）

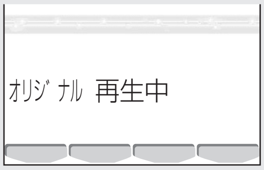
お知らせ

● オリジナルを設定していても、ファクス受信できなくなったときや録音できなくなった場合は、自動的に固定応答メッセージに切り替わります。記録紙やインクリボンをセットして受信内容をプリントしたあと、または用件を消去したあと応答メッセージを選んでください。

応答メッセージの内容を聞く

1 「応答メッセージを録音する」の手順 1 ～ 2 を行う
（P.6-8）

2 （▲）または（▼）で「再生」を選び、（L/決定）を押す



●再生が始まります。

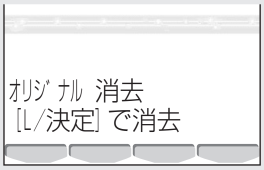
3 再生が終わったら

待機画面にもどる

応答メッセージを消す

1 「応答メッセージを録音する」の手順 1 ～ 2 を行う
（P.6-8）

2 （▲）または（▼）で「クリア」を選び、（L/決定）を押す



●オリジナルメッセージを消去したときは、自動的に固定応答メッセージになります。

留守機能をもっと便利に使う

留守モードでのコール回数などを設定することができます。

親機で設定します

途中でやめるとき
停止ボタンを押す

1つ前に戻るとき
取消ボタンを押す

工場出荷時は［網かけ］に設定されています。

設定項目／はたらき	登録の操作手順
暗証番号 外出先からリモート操作するときの暗証番号を設定します。 ・**登録** 暗証番号を登録します。 ・**クリア** 登録した暗証番号を消去します。	登録 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で「**留守録**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で「**暗証番号**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で選ぶ 1：登録 ▶ 決定 ▶ ダイヤルボタンで4ケタの暗証番号を入れる ▶ 決定 ▶ 停止 2：クリア ▶ 決定 ▶ 決定 ▶ 停止
お声拝聴 留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえます。 ・**あり** 留守録設定中に応答メッセージと相手の方の録音中の声がスピーカーから聞こえます。 ・**なし** 留守録設定中でも応答メッセージと相手の方の録音中の声は聞こえません。	登録 ▶ ▲または▼で「**詳細設定**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で「**留守録**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で「**お声拝聴**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で 1：あり 2：なし のどちらかを選ぶ ▶ 決定 ▶ 停止
留守モード時のコール回数 応答メッセージが流れるまでの呼出音の回数を設定します。 留守モード時の呼出音の回数を01回から25回まで設定することができます。	登録 ▶ ▲または▼で「**親機呼出音**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で「**呼出回数**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で「**留守モードコール回数**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ▲または▼で「**回数選択**」を選ぶ ▶ 決定 ▶ ダイヤルボタンで01—25回を入力（工場出荷時は4回） ▶ 決定 ▶ 停止